

# 1年目及び2年目協力病院

1. 大分県立病院	108
2. 国家公務員共済組合連合会 新別府病院	108
3. 独立行政法人国立病院機構 別府医療センター	109
4. 大分県厚生連鶴見病院	109
5. 大分市医師会立アルメイダ病院	110
6. 大分赤十字病院	110
7. 独立行政法人国立病院機構 大分医療センター	111
8. 南海医療センター	111
9. 大分県済生会日田病院	112
10. 中津市立中津市民病院	112
11. 大分岡病院	113

※平成 30 年 4 月 1 日現在。

選択科においては、将来見直しが行われる可能性があります。

No.1	<b>大分県立病院</b>			
研修実施責任者名	教育研修センター所長 加藤 有史 卒後臨床研修プログラム責任者 柴富 和貴			
病床数	578	1日平均外来患者数	915.4	
医師数	157	1日平均入院患者数	431.9	
研修医室	1	当直(回/月)	4	
病院の特徴	大分県の代表的な中核病院として、将来の地域医療を担う第一線級の人材を育てていくため、当院では十分に整った環境の中で「基幹型臨床研修病院」として、また大分大学医学部附属病院、九州大学病院、長崎大学病院及び熊本大学医学部附属病院の「協力型臨床研修病院」として研修医の臨床研修を行っています。			
研修症例の特徴	大分県立病院の卒後臨床研修では、Common Diseaseから高度・専門医療まで幅広く症例を体験できます。			
研修内容アピール	将来、プライマリ・ケアに対処し得る第一線の臨床医や高度の専門医を目指すにあたり、必要な診療に関する基本的な知識及び技能の習得並びに医師としての人間性を涵養し、もって、厚生労働省が設定した「臨床研修の到達目標」を達成する。			
診療科名 ※選択科は赤字	循環器内科、内分泌・代謝内科、消化器内科、腎臓内科、膠原病・リウマチ内科、呼吸器内科、呼吸器腫瘍内科、血液内科、神経内科、放射線科、外科(消化器、乳腺)、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科、整形外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科、救命救急センター、小児科、新生児科、産科、婦人科、臨床検査科(病理)			
事務担当	教育研修センター 江口 啓子			
住所	〒870-8511 大分市大字豊饒476番地			
TEL	097-546-7111	FAX	097-546-0725	
E-Mail	a80200@pref.oita.lg.jp	URL	https://www.oitapref-hosp.jp/	

No.2	<b>国家公務員共済組合連合会 新別府病院</b>			
研修実施責任者名	臨床研修部長 菊田 浩一			
病床数	263	1日平均外来患者数	307.7	
医師数	44.15	1日平均入院患者数	230.4	
研修医室	有	当直(回/月)	3~4	
病院の特徴	当院は病床数263床の県北における地域中核病院です。Science & Humanityの理念のもと急性期対応病院として地域医療に貢献しています。平成21年に大分県で4番目の「救命救急センター」の認可を受け、重症患者の救命を第一義として診療に当たっています。厚生労働省が進める4疾病5事業(急性心筋梗塞、脳卒中、がん、糖尿病、救急医療、災害医療、へき地医療)に積極的に取組んでいます。また高齢化社会における骨関節疾患増加に対応すべく「人工関節センター」を開設しました。「がん」についても年間10,000例に及ぶ内視鏡を実施している消化器内科をはじめ外科、呼吸器内科、呼吸器外科と共に肺癌や消化器癌対策に尽力しています。			
研修症例の特徴	・救命救急センターに搬送される急性冠症候群、急性脳血管障害、多発外傷、中毒といった救急疾患症例・ICUで行われるPCPS、脳低体温療法、CHDFなどの高度集中治療を要する心肺蘇生後、敗血症、重症肺炎などの重症症例・種々の手術(心臓血管外科、外科、呼吸器外科、整形外科、脳神経外科、眼科)症例・麻酔科での挿管訓練と麻酔症例・糖尿病、パーキンソン病、COPDなどの慢性疾患症例・肺癌、消化器癌などの癌症例・放射線科での画像診断レッスンと血管治療症例。このような多彩かつ豊富な症例を学んでいただけます。			
研修内容アピール	1.何よりも研修医の自主性を尊重し、研修医とともに研修プログラムを作り上げていきます。したがって研修途中でのプログラム変更にも柔軟に対応します。2.病院職員全体で研修医を見守り、育てる姿勢を大切にしています。3.救急・集中治療が充実しています。4.CPCIに力を入れています。これまでに当院の臨床研修を受けた研修医はほぼ全員CPCレポートを終了しました。			
診療科名 ※選択科は赤字	内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、内分泌・代謝内科、外科、肛門外科、整形外科、リウマチ科、リハビリテーション科、泌尿器科、放射線科、脳神経外科、眼科、麻酔科、心臓血管外科、呼吸器外科、消化器外科、救急科			
事務担当	総務課 甲斐 大起			
住所	〒874-0833 大分県別府市大字鶴見3898番地			
TEL	0977-22-0391	FAX	0977-26-4170	
E-Mail	soumu@shinbeppu-hosp.jp	URL	http://www.shinbeppu-hosp.jp/	

No.3	独立行政法人国立病院機構別府医療センター			
研修実施責任者名	酒井 浩徳			
病床数	500	1日平均外来患者数	568	
医師数	109	1日平均入院患者数	336.9	
研修医室	有	当直(回/月)	4	
病院の特徴	大分県医療計画に沿い、がん、周産期・小児医療、脳血管障害、虚血性心疾患、糖尿病、救急医療の分野で専門的な医療、臨床研究、教育研修を行っています。更にそれ以外の医療分野についても充実し、大分県地域支援病院として総合病院的な体制で地域医療の中心的役割を果たしています。			
研修症例の特徴	全診療科にわたり、超急性期、急性期、慢性期と非常に幅広く、多くの症例を経験できると共に、日常の臨床の中で、指導医より直接指導を受けることができます。更に、各診療科の上級医による基礎講座をカリキュラム内に組んでおり、研修した症例を中心とした疾患に関する幅広い臨床知識・技能を学ぶことができます。			
研修内容アピール	当院は以下に挙げる優れた特徴を有した臨床研修病院です。当院の特徴：1. プライマリー・ケアに従事しうる臨床能力を身につけるため、適切な指導のもと多様な疾患の診断・治療を経験できます。2. 地域医療を除き、すべての研修が当院で受けることが可能です。3. 研修医諸氏のための宿舎、研修医室、図書室、研修のためのシミュレーターなど、研修に役立つハードウェアが完備されています。			
診療科名 ※選択科は赤字	呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、糖尿病・代謝内科、腎臓内科、精神科、神経内科、リウマチ科、小児科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓外科、血管外科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、歯科・口腔外科、病理診断科、麻酔科、救急科、総合診療科			
事務担当	管理課 庶務班長 古川 健太			
住所	〒874-0011 別府市内かまど1473			
TEL	0977-67-1111	FAX	0977-67-5766	
E-Mail	618sy01@hosp.go.jp	URL	http://www.beppu-iryuu.jp/	

No.4	大分県厚生連鶴見病院			
研修実施責任者名	加賀 明彦 臨床研修センター長			
病床数	230	1日平均外来患者数	535	
医師数	66	1日平均入院患者数	216	
研修医室	有	当直(回/月)	3	
病院の特徴	当院は、大分県厚生連健康管理センター、介護老人保健施設シモア鶴見50床を併設した230床の地域中核病院で、平成29年度の外来患者は1日約535人、入院患者は1日約216人、救急車搬入患者数は2174台です。当院は風光明媚な別府市のほぼ中央に位置し、二次医療圏の別府速見地区及びその周辺を対象とする病院で、保健予防から救急医療、緩和ケア、慢性疾患医療、リハビリ、老人福祉まで一貫した総合的医療を実践しています。当院の特色を生かし、第一線の地域医療を担える医師を養成することを目的としています。			
研修内容アピール	1年目必修科目受け入れ診療科：◇内科では以下の事項を目標に研修を行う。病態の正確な把握のために、全身の系統的な身体診察及び医療面接を適切に実施できること、また、その適切な記載ができること。病態と臨床経過から必要な検査について、その適応を判断し結果が解釈できること。様々な基本的手技を経験し、自ら適切に実施できること。基本的治療法の適応を決定し、適切に実施できること。◇外科では、一般外来を中心に、外科の基本的治療法と臨床検査の選択と解釈、初歩的手術手技を経験する。◇救急部門では、モニタリング、ラインの確保、エアウェイの確保、気管挿管、全身麻酔の維持を身につける。救急外来からの初期治療を含め救急疾患を経験する。			
診療科名 ※選択科は赤字	内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、血液内科、糖尿病・代謝内科、腎臓内科、肝臓内科、人工透析内科、小児科、外科、肝臓・胆のう・膵臓外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺外科、肛門外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、腎臓外科・泌尿器科、血管外科、内視鏡外科、眼科、麻酔科、リハビリテーション科、放射線診断科、緩和ケア科、腫瘍内科、放射線治療科、病理診断科、救急科、神経内科			
事務担当	臨床研修センター 小野 綾			
住所	〒874-8585 別府市大字鶴見4333番地			
TEL	0977-23-7111	FAX	0977-23-7039	
E-Mail	tt-center@ok-tsurumi.com	URL	http://www.ok-tsurumi.com	

No.5	大分市医師会立アルメイダ病院			
研修実施責任者名	稲垣 伸洋(イナガキ ヒロノブ)			
病床数	406	1日平均外来患者数	151(紹介型)	
医師数	75	1日平均入院患者数	317	
研修医室	有	当直(回/月)	0~5	
病院の特徴	昭和44年に大分市医師会による紹介型の医師会立病院として開院、かかりつけ医との密接な連携のもと地域中核病院として急性期疾患を中心とした医療を担っています。この間、昭和53年には大分県初の救命救急センター認定、平成10年には地域医療支援病院承認など常に時代のニーズに合った機能を備えてきました。平成20年には災害拠点病院として大分県初の免震構造を採用した安全性の高い新病院へ移転、同時に地域周産期母子医療センター認定、平成22年には地域がん診療連携拠点病院にも指定されています。1557年ポルトガルの宣教師で医師でもあったルイス・デ・アルメイダが私財を投じて府内(大分市)に日本で初めての洋式病院を建て、そこには医学校や育児院も併設され多くの住民の診療を行ったと伝えられています。当院は病院名にその名を冠し偉業を受け継いでいます。			
研修症例の特徴	紹介型の医師会立病院としての症例の多様性、Aランクの救命救急センターを併設し、1次救急から3次救急までを担う救急医療対応、新生児集中治療室を備える地域周産期母子医療センター、災害拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、県内有数の症例数を誇る心カテ、内視鏡など年間の外来55,000人、入院7,000人、救急搬送2,500件に及ぶ豊富な症例を短期間に経験することができます。			
研修内容アピール	各科1名ローテ、マンツーマン指導のため研修医一人当たりの症例・実技数は豊富です。また、医師間だけでなく医師とコメディカル間の垣根も低く伸び伸びと研修することができます。			
診療科名 ※選択科は赤字	内科、内分内分泌科、血液内科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、腎臓内科、腫瘍内科、緩和ケア内科、放射線科、外科、脳神経外科、呼吸器外科、血管外科、整形外科、形成外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産科、婦人科、小児科、新生児内科、麻酔科、救急科、リハビリテーション科、精神科、眼科、耳鼻いんこう科、総合診療科			
事務担当	事務部 安東 雅由(アンドウ マサヨシ)			
住所	〒870-1195 大分市大字宮崎1509-2			
TEL	097-569-3121(内1241)	FAX	097-568-0743	
E-Mail	ma_andou@almeida.oita.med.or.jp	URL	http://www.almeida-hospital.com/	

No.6	大分赤十字病院			
研修実施責任者名	副院長 金田 幸司			
病床数	340	1日平均外来患者数	494	
医師数	87	1日平均入院患者数	277	
研修医室	1室	当直(回/月)	2~3回/月	
病院の特徴	当院は、病床数340の一般病床を有する急性期病院で29の診療科を標榜している。高齢化社会における疾病構造の変化、スタッフの専門分野、赤十字の使命、県都の中心部に位置するLocationなどを鑑み、災害・救急医療、がん診療、生活習慣病の急性期医療を3本柱として、最良の医療を提供することを使命としている。災害拠点病院として、天災・集団災害に備える諸活動を展開するとともに、救急部は「365日24時間」の体制を敷いて積極的に取り組んでいる。また、2002年12月には厚生労働省より地域がん診療連携拠点病院の指定を受け、(2016年4月に更新)、「大分のがんセンター」をめざして質の高いがん診療を推進している。			
研修症例の特徴	初期研修の2年間ににおいては、プライマリ・ケアと救急医療に重点を置いた研修を行っている。研修医にとって漫然とした研修にならないよう各ローテート科において到達度チェック試験を実施し、きちんと知識を整理しつつ研修を行っている。各種の勉強会も盛んで、単なる講義形式ではなく研修医参加型の勉強会を行っている。救急疾患に関しても365日、24時間体制で研修医Callを実施し、重要な救急疾患(急性冠疾患症候群・急性腹症など代表的な17疾患)に対応可能としている。			
研修内容アピール	指導医が「臨床に対する熱い思い」をマンツーマン方式で伝えられるようにカリキュラムの充実を図り、「当院で研修を受けたい、当院で働きたい」という病院本来の目標に添うようにハード・ソフト両面からの体制づくりを進めている。医師としてのプロフェッショナルリティを養い、通常遭遇する疾患群に的確に対応できる医療能力を身につける。			
診療科名 ※選択科は赤字	糖尿病・代謝内科、呼吸器内科、消化器内科、肝臓・胆のう・膵臓内科、循環器内科、リウマチ科、腎臓内科、脳神経外科、脳血管内科、小児科、外科、血管外科、整形外科、消化器外科、呼吸器外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、麻酔科、放射線科、病理診断科、救急総合診療科、歯科、歯科口腔外科			
事務担当	総務課 沙藤 秀典			
住所	〒870-0033 大分市千代町3丁目2-37			
TEL	097-532-6181	FAX	097-533-1207	
E-Mail	jinji-kyu@oita-rc-hp.jp	URL	http://www.oitasekijyuji.jp/	

<b>No.7</b>	<b>独立行政法人国立病院機構 大分医療センター</b>			
<b>研修実施責任者名</b>	院長 穴井 秀明（プログラム責任者 山下 勉）			
<b>病床数</b>	300	<b>1日平均外来患者数</b>	297.9	
<b>医師数</b>	35	<b>1日平均入院患者数</b>	238.1	
<b>研修医室</b>	1	<b>当直(回/月)</b>	希望により月4回まで	
<b>病院の特徴</b>	当院は、昭和54年4月に開院、国立病院としては専門医療施設に位置づけられていたため、診療各科の連携による「専門医療的」総合病院として診療の充実を図ってきました。政策医療としてのがん、肝疾患診療を中心とした診療・臨床研究・教育研修を一層推進し、臨床研修指定病院として、毎年研修医を引き受けています。特色として①がん、悪性新生物治療の特例病床50床を有し、集学的診療を行っています。②診療部門をセンター化し、より機能的、効率的な診断、治療を行っています。③日帰り手術（デイ・サージャリー）を各科で推進しています。④クリティカルパスを133種類有し、効率的な医療を行っています。⑤救急医療に積極的に取り組み、平成12年4月1日より大分市二次救急医療固定輪番制（365日24時間体制）の指定を受けています。大分県地域がん診療拠点協力病院や大分県地域医療支援病院の指定を受けている。大分大学医学部臨床教授の資格を持つ医師が8名いて、地域医療の貢献と医学生や研修医の教育にも力を注いでいる。			
<b>研修症例の特徴</b>	「研修内容アピール」のとおり			
<b>研修内容アピール</b>	研修医受け入れ診療科の説明及び指導体制・1年目必修科目受け入れ診療科の説明及び指導体制/代謝・内分泌内科:内科医として必要な診断技術と治療法を身に付ける。更に、頻度の多い代謝・内分泌疾患の診断と初期治療法の修得。/呼吸器内科:呼吸器疾患に対し、適切な初期対応ができるよう、基本的診断能力を身に付ける。/消化器内科:内視鏡部門、肝疾患部門、消化器病部門を中心とした疾患で病態の把握、治療手技に結びつく検査の意義と方法を知り、診断及び適切な治療方針が立てられること。基本的疾患については、検査・診断・治療を担当する。指導医の下、主治医として常時5例を受け持つ。/循環器内科:疾患に応じた的確な病歴聴取。基本的診察手技の習得。循環器検査・処置の習熟。/救急部門:①救急外来での研修により、気管確保、気管内挿管等の呼吸管理の方法を習得する。②救急蘇生法の理解を深め、蘇生法の指導が出来るようになる。③HCUの管理方法を習得する。2年目選択必修科目受け入れ診療科の説明及び指導体制/外科:基本的外科処置。基本的な外科知識。手術適応の判断。麻酔科:麻酔という特殊な状況下での患者の全身管理の修得。麻酔管理をとおしての患者急変時に役立つスキルの修得。患者の痛みを和らげる方法の修得。救急蘇生法について理解を深め、蘇生法の指導ができるようにすること。/2年目選択科目受け入れ診療科の説明及び指導体制/代謝・内分泌内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、麻酔科は上記内容と同一。整形外科:基本的な整形外科的診察法、検査法、画像診断、治療の修得。泌尿器科:手術・腰椎麻酔を中心に、外来診察と内視鏡検査や、血液透析・腹膜透析の導入・管理、病棟での尿路管理などの修得。			
<b>診療科名</b> ※選択科は赤字	・1年目必修科目受け入れ診療科:代謝・内分泌内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、救急部門(救急外来、麻酔科、HCU) ・1年目選択必修科目受け入れ診療科:外科、呼吸器外科、麻酔科、泌尿器科、放射線科、整形外科、病理診断科 ・2年目将来専門とする科目等受け入れ診療科:代謝・内分泌内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、整形外科、泌尿器科、麻酔科			
<b>事務担当</b>	立川 秀一			
<b>住所</b>	〒870-0263 大分市横田2丁目11番45号			
<b>TEL</b>	097-593-1111	<b>FAX</b>	097-593-3106	
<b>E-Mail</b>	617sy01@hosp.go.jp	<b>URL</b>	http://nho-oita.jp/	

<b>No.8</b>	<b>独立行政法人地域医療機能推進機構 南海医療センター</b>			
<b>研修実施責任者名</b>	院長 森本 章生(もりもと あきお)			
<b>病床数</b>	260(感染症4床)	<b>1日平均外来患者数</b>	334	
<b>医師数</b>	20.4	<b>1日平均入院患者数</b>	138	
<b>研修医室</b>	医局内専用机あり	<b>当直(回/月)</b>	なし	
<b>病院の特徴</b>	当院は佐伯市の中核病院で、1日約334人の外来、138人の入院患者の診療を行っている。救急車搬入患者数は年間713件で救急診療を行う急性期病院・災害拠点病院・大分県DMAT指定病院である一方、健診部門を扱う健康管理センターも附設されており悪性腫瘍や動脈硬化性疾患を中心とした生活習慣病の早期発見及び治療に取り組んでいる。平成26年4月より独立行政法人地域医療機能推進機構に移行し、総合医の養成や地域包括ケアシステムの構築など、地域ニーズに応じた医療提供も大きなミッションとしている。			
<b>研修症例の特徴</b>	急性期病院なので様々な疾患を経験できる。プライマリーケアから高度医療まで幅広く研修できる。画像診断センターには大学病院と同じ320列CTやMRI・ガンマカメラ・血管造影装置などがあり、また放射線治療も行っている。地域柄、患者さんは高齢者が多いが、高齢者は複数の疾病を併せ持つことが多く全人的医療を心がけ、多職種のコメディカルと相談しながらチーム医療を実践している。			
<b>研修内容アピール</b>	心臓カテーテル検査、上下部消化管内視鏡、がん化学療法など多数の症例経験が可能である。総合診療科もあり、救急患者を含めた多種多様な患者さんに対応している。外科は腹腔鏡下手術を多数行っており、佐伯市で腹部救急疾患に対応できる唯一の病院である。また人工透析センターでは維持透析患者が約160名おり、透析患者の全身管理も研修出来る。学会認定ICLSコースやCPA症例検討、地域の先生と合同の症例検討会などを定期的に開催している。受け入れ研修医数は少ないが、その分きめの細かいオーダーメイドの実習ができ、多くの臨床手技を経験できることが利点である。			
<b>診療科名</b> ※選択科は赤字	内科、循環器科、総合診療科、外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、形成外科、リハビリテーション科（休診中）小児科・産婦人科・眼科			
<b>事務担当</b>	総務企画課長 山西 啓一郎(やまし けいいちろう)			
<b>住所</b>	〒876-0857 大分県佐伯市常盤西町11番20号			
<b>TEL</b>	0972-22-0547(代表)	<b>FAX</b>	0972-23-0741	
<b>E-Mail</b>	yamanishi-keiichiro@nankai.jcho.go.jp	<b>URL</b>	http://nankai.jcho.go.jp/	

<b>No.9</b>	<b>大分県済生会日田病院</b>			
<b>研修実施責任者名</b>	副院長 大坪 仁			
<b>病床数</b>	204	<b>1日平均外来患者数</b>	248	
<b>医師数</b>	31	<b>1日平均入院患者数</b>	173	
<b>研修医室</b>	有	<b>当直(回/月)</b>	2、3回程度	
<b>病院の特徴</b>	大分県西部の基幹病院。地域医療支援病院、へき地医療拠点病院、災害拠点病院、第2種感染症指定医療機関、地域がん連携診療拠点病院でもある。地域に根ざした病院で、地域の医療施設と連携して、日田・玖珠地域を中心とし、中津市から熊本県、福岡県までの広域医療圏を形成している。また、済生会グループによる基本的事業として低所得者などに対する無料又は低額診療並びに刑余者に対する医療福祉サービスの提供を積極的に行うモデル病院である。			
<b>研修症例の特徴</b>	当院は地域巡回医療やプライマリーケアおよび2次救急まで担当する。そのためいわゆる「かぜ」や「胃炎」などの一般的疾患から白血病、膠原病、重症心疾患、交通外傷および癌など幅広い疾患を網羅している。研修医1名あたりの症例数は極めて多く、幅広い疾患を経験できるのが特徴。			
<b>研修内容アピール</b>	なんとといっても指導医がマンツーマンで指導を行い、経験できる症例数が断然多く、内容的にも多彩な疾患を経験できるのが特徴である。また、研修スケジュールが比較的余裕があるため、各人の研修希望に沿える状況であるのも大きな病院とは異なる点である。さらに現在は東京都済生会中央病院および大阪府済生会中津病院から地域医療研修で初期研修2年目の研修医が毎月来院している。今年で8年目の取り組みとなるが好評なため研修期間継続しており、そのため当院での研修では同世代研修医と交流を深めることができる。			
<b>診療科名 ※選択科は赤字</b>	内科、心臓血管内科、消化器内科、血液内科、糖尿病・代謝内科、腎臓内科(人工透析)、外科(呼吸器外科、消化器外科、乳腺外科、頸部外科)、血管外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、小児科、皮膚科、婦人科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科			
<b>事務担当</b>	総務課 山崎 泰典			
<b>住所</b>	〒877-1292 大分県日田市大字三和643番地7			
<b>TEL</b>	0973-24-1100	<b>FAX</b>	0973-22-1269	
<b>E-Mail</b>	y-yamasaki@saiseikai.hita.oita.jp	<b>URL</b>	http://saiseikai.hita.oita.jp	

<b>No.10</b>	<b>中津市立中津市民病院</b>			
<b>研修実施責任者名</b>	福山 康朗			
<b>病床数</b>	250	<b>1日平均外来患者数</b>	300	
<b>医師数</b>	52	<b>1日平均入院患者数</b>	218	
<b>研修医室</b>	有	<b>当直(回/月)</b>	4～6	
<b>病院の特徴</b>	大分県北部と福岡県東部の合計2箇所の二次医療圏の中で唯一の(200床以上の)公立病院として、地域の中核となる病院で、平均入院日数は10.8日の急性期型の一般病院です。地域がん診療連携拠点病院、地域母子周産期医療センターに指定されています。平成24年10月に新病院が開院し、高機能病院にふさわしい80列CT、MRI、リニアック、PET装置等の高性能な医療機器を備えています。また、医業収益の1.0%を教育研修費として予算計上し、臨床研究、学術集会や研修会参加等によって積極的に職員の教育研修に努めています。			
<b>研修症例の特徴</b>	年間約6,700人の入院患者のうち約3割が「がん患者」で手術・化学療法・放射線治療等、集学的治療を積極的に行っています。中でも肺癌手術件数は県内トップレベルの水準です。また、地域周産期母子医療センターとして、新生児疾患・ハイリスク分娩にも対応可能です。(小児科医6名・産婦人科医4名) 平成29年度の救急車搬送患者数は2,253件で、北部医療圏及び福岡県東部の中核病院として幅広い疾患に対応しています。			
<b>研修内容アピール</b>	「忙しすぎない、じっくり考える研修」をモットーに、救急にも対応可能な臨床力の獲得を目指した研修を行なっています。研修医の担当患者数を適正に制限し、個々の患者さんに十分な時間をかけて接することができるようにしています。当直を夜勤とし、夜勤明けを休みとしていることも特徴です。 また、中規模病院ならではの利点として、診療科間の壁が無く、診療科横断的な研修が可能です。そのほか、放射線科画像診断能力の獲得や内視鏡、観血的処置などの手技も取得可能です。			
<b>診療科名 ※選択科は赤字</b>	内科、糖尿病・内分泌内科、心療内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、血液内科、小児科、外科、消化器外科、内視鏡外科、乳腺外科、肛門外科、呼吸器外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、小児外科、泌尿器科、産婦人科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、病理診断科、歯科口腔外科			
<b>事務担当</b>	辻 侑希			
<b>住所</b>	〒871-8511 大分県中津市大字下池永173番地			
<b>TEL</b>	0979-22-2480	<b>FAX</b>	0979-22-2481	
<b>E-Mail</b>	soumu2@nakatsu-hosp.jp	<b>URL</b>	http://www.city-nakatsu.jp/hospital/	

No.11	社会医療法人敬和会 大分岡病院			
研修実施責任者名	院長 立川 洋一、副院長/臨床研修センター長 迫 秀則			
病床数	224	1日平均外来患者数	241	
医師数	41	1日平均入院患者数	184	
研修医室	有	当直(回/月)	4	
病院の特徴	<p>心血管センター、創傷ケアセンター、消化器センターなど、チーム医療を積極的に導入しており、個々の医師が専門性を活かしながら協力し合うことで、迅速かつ効果的な医療を提供しています。心筋梗塞や狭心症などの循環器系の疾患に救急対応できるのも大きな特色のひとつであり、外来で可能な症例からICU管理が必要な重症例と幅広い症例を経験することが出来ます。また、近年ドクターカーの導入や大分DMAT参加など、救急医療の提供に力を入れています。</p>			
研修症例の特徴	<p>二次救急指定病院として年間2,300件以上の救急車を受入れています。特に外傷や循環器疾患の患者さんが多く搬送されます。多様な症例にファーストタッチできると同時に循環器疾患に於いては内科的治療と外科治療双方を行っており専門領域に踏み込んだ治療を経験することも出来ます。</p>			
研修内容アピール	<p>当院の初期研修の特徴は救急医療を中心としたプライマリケアを初年度で多く経験できる点にあります。豊富な症例を経験できるので、十分な知識と経験を身に付けられ、目的意識のはっきりした、やる気のある研修医ほど満足していただけるプログラムになっています県下でもトップクラスの救急車搬入台数があり、多くの症例にファーストタッチできると同時に、患者さんに対してどのように対応し治療していくのを学んでいきます。1年目にプライマリケアに必要な知識や技能を身につけ、2年目から当直に参加します。研修医のキャリアを考慮して、選択科目を自由に選択できるようにフレキシブルな対応を心がけています。</p>			
診療科名 ※選択科は赤字	<p>内科、<b>循環器内科</b>、呼吸器科、神経内科、消化器科、外科、整形外科、皮膚科、<b>形成外科</b>、脳神経外科、<b>心臓血管外科</b>、小児科、放射線科、歯科・口腔外科、矯正歯科、<b>麻酔科</b>、腫瘍内科、<b>救急科</b>、胸部外科、腎臓内科、糖尿病内科、血液内科</p>			
事務担当	安東 玲子, 神矢 有太(総務・人事部)			
住所	〒870-0192 大分県大分市西鶴崎3丁目7番11号			
TEL	097-522-3131	FAX	097-522-3777	
E-Mail	ando1901@oka-hp.com	URL	<a href="http://www.oka-hp.com">http://www.oka-hp.com</a>	



# 2年目協力病院

1. 豊後大野市民病院	116	31. 杵築中央病院	131
2. 西別府病院	116	32. セント・ルカ産婦人科	131
3. 湯布院病院	117	33. 堀永産科婦人科医院	132
4. 臼杵市医師会立コスモス病院	117	34. みぞぐち産婦人科医院	132
5. 杵築市立山香病院	118	35. 新小倉病院	133
6. 国東市民病院	118	36. 中津脳神経外科病院	133
7. 竹田医師会病院	119	37. 河野脳神経外科病院	134
8. 津久見市医師会立津久見中央病院	119	38. 宇佐胃腸病院	134
9. 宇佐高田医師会病院	120	39. 川崎内科	135
10. 大分中村病院	120	40. かわしまクリニック	135
11. 西田病院	121	41. 黒木記念病院	136
12. 中津第一病院	121	42. 佐藤第一病院	136
13. 大分三愛メディカルセンター	122	43. 塚川第一病院	137
14. 天心堂へつぎ病院	122	44. 福島病院	137
15. 野口病院	123	45. 大分ゆふみ病院	138
16. 永富脳神経外科病院	123	46. 佐賀関病院	138
17. 中村病院	124	47. 大分健生病院	139
18. 大久保病院	124	48. 諏訪の杜病院	139
19. 高田中央病院	125	49. 宮崎医院	140
20. 一ノ宮脳神経外科病院	125	50. 宇佐リハビリ診療所	140
21. 明野中央病院	126	51. 天心堂へつぎ診療所	141
22. 日野病院	126	52. 姫島村国民健康保険診療所	141
23. 大分こども病院	127	53. 中津市国民健康保険山移診療所	142
24. 別府発達医療センター	127	54. 中津市国民健康保険槻木診療所	142
25. 健和会大手町病院	128		
26. 熊本赤十字病院	128		
27. 千代田病院	129		
28. 岩永レディスクリニック	129		
29. 大川産婦人科病院	130		
30. 大分循環器病院	130		

※平成30年4月1日現在。

選択科においては、将来見直しが行われる可能性があります。

<b>No.1</b>	<b>豊後大野市民病院</b>			
<b>研修実施責任者名</b>	院長 木下 忠彦			
<b>病床数</b>	199	<b>1日平均外来患者数</b>	349	
<b>医師数</b>	22	<b>1日平均入院患者数</b>	167	
<b>研修医室</b>	有	<b>当直(回/月)</b>	4回程度	
<b>病院の特徴</b>	当院は、豊後大野市・竹田市の豊肥医療圏の中核病院として、「二次救急指定病院」、「へき地医療拠点病院」、「大分DMAT第1次指定病院」などの指定を受け、急性期から慢性期まで幅広い医療機能を有するとともに、在宅医療・訪問看護といった地域に根付いた医療を担っています。 職員一同、「地域に役立ち、選ばれる病院」を目指し業務に取り組んでいます。			
<b>研修症例の特徴</b>	豊肥地域の実情から、患者さんは高齢者が多くなりますが、高齢者は複数疾病を有する傾向にあるため様々な症例が学べます。また、第二次救急医療機関として救急車での搬送が年間約700件あり、内科・外科・整形外科の救急患者の対応もしっかり学べます。さらに訪問診療・訪問看護・巡回診療などの在宅医療や、当院の療養病床での介護を含む福祉分野についても学習する機会があります。			
<b>研修内容アピール</b>	豊肥医療圏は高齢化率が40%を超える超高齢化地域であり、当院では日本の30年後の医療が実践できるといえます。研修中は、地域医療のありのままの姿に接することができますし、医師・看護師をはじめスタッフが懇切に対応し、指導医も熱心に指導していきます。 なお、研修環境としては、院内各所にはインターネットが自由に使えるWi-Fi環境が整備されており、ロジック風の研修宿泊施設等も含め快適に過ごせます。 また、「おおいた豊後大野ジオパーク」に認定された当地域は、豊かな自然環境を有しており、地元の美味しい銘酒とともに、ゆったりとした時間の中で多くのことを学べます。			
<b>診療科名</b> ※選択科は赤字	総合内科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、神経内科、内分泌代謝科、小児科、外科、整形外科、泌尿器科、眼科、婦人科、放射線科、麻酔科、脳神経外科、リハビリテーション科、耳鼻咽喉科、皮膚科、腫瘍内科、血液内科、 <b>地域医療</b>			
<b>事務担当</b>	深辺 弘幸			
<b>住所</b>	〒879-6692 大分県豊後大野市緒方町馬場276番地			
<b>TEL</b>	0974-42-3121	<b>FAX</b>	0974-42-3078	
<b>E-Mail</b>	keiei-k@bungo-ohno-hp.jp	<b>URL</b>	<a href="http://www.bungo-ohno-hp.jp/">http://www.bungo-ohno-hp.jp/</a>	

<b>No.2</b>	<b>独立行政法人国立病院機構西別府病院</b>			
<b>研修実施責任者名</b>	副院長 原 政英			
<b>病床数</b>	350	<b>1日平均外来患者数</b>	118.2	
<b>医師数</b>	31	<b>1日平均入院患者数</b>	303.6	
<b>研修医室</b>	医局内	<b>当直(回/月)</b>	2	
<b>病院の特徴</b>	当院は大分県の結核医療拠点病院であり、神経難病拠点病院でもあります。さらに県下最大の重症心身障害(児)者の受け入れ施設でもあります。それらの政策医療だけでなく、慢性期の呼吸器疾患・小児疾患・血液内科・循環器疾患の診療を行っています。また全国でも数少ない九州リンパ浮腫センターを設置しており、難治性リンパ浮腫の診断治療に取り組んでいます。循環器科では心臓リハビリテーションを積極的に行っております。血液内科では平成26年に無菌室を開設しました。外来診療では、総合スポーツ外来・糖尿病外来・セカンドオピニオン外来・いびき外来・頭痛外来・遺伝外来・リンパ浮腫(むくみ外来)・生活習慣病改善外来・接触嚙下(のみこみ)外来といった専門外来を行っています。			
<b>研修症例の特徴</b>	小児科では重症心身障害(児)者を中心とした療養介護症例と神経疾患・腎疾患・内分泌・てんかん・自閉症・注意欠陥・多動性障害・ならびにその他の発達障害症例。神経内科では筋ジストロフィー・筋萎縮性側索硬化症・その他の神経難病症例。呼吸器では肺結核・非結核性抗酸菌症・肺炎・肺癌・肺化膿症・肺真菌症など呼吸器全般。			
<b>研修内容アピール</b>	当院には多くの抗酸菌感染症例・重症心身障害(児)症例・筋ジストロフィー・神経難病症例が入院されており、短期間で多数例を経験できる数少ない施設です。また常時90症例以上の人工呼吸器症例を管理しており、呼吸管理についてもトレーニングが可能です。			
<b>診療科名</b> ※選択科は赤字	内科・神経内科・呼吸器科・小児科・血液内科・循環器科・精神科・外科・整形外科・脳神経外科・婦人科・リハビリテーション科・放射線科・皮膚科・麻酔科・歯科			
<b>事務担当</b>	管理課 小池 由哉			
<b>住所</b>	〒874-0840 大分県別府市大字鶴見4548番地			
<b>TEL</b>	0977-24-1221	<b>FAX</b>	0977-26-1163	
<b>E-Mail</b>	619sy01@hosp.go.jp	<b>URL</b>	<a href="http://www.nbnh.jp/">http://www.nbnh.jp/</a>	

No.3	独立行政法人地域医療機能推進機構 湯布院病院			
研修実施責任者名	井上龍誠(内科)、針秀太(整形外科)			
病床数	273	1日平均外来患者数	79.6	
医師数	8	1日平均入院患者数	149.5	
研修医室	医局中	当直(回/月)	1~2	
病院の特徴	当院の前身は湯布院厚生年金病院であり、リハビリテーション医療は50年以上の伝統を持つ。一方、地域医療の核として周辺地域の内科・整形外科領域患者を診療してきた。内科は循環器、神経、糖尿病、消化器、リウマチ等の領域を診ている。回復期リハビリテーションの黎明期には同病棟を4病棟有し、脳卒中後や整形手術後患者の在宅復帰に尽力し、大分県リハビリテーション支援センターとしてリハの思想や技術の普及にも貢献してきた。近年は、由布市、玖珠郡等周辺地域の高齢化、過疎化の実情に対応して地域包括ケア病床を増床し、中等症以下の急性期から在宅復帰までを一貫して診るシステムを整え、訪問診療、訪問看護、訪問リハ、通所リハなどの居宅支援部門の充実を図っている。			
研修症例の特徴	病院全体としては脳卒中後や整形手術後のリハビリテーション患者の診療数が多いが、多くが高齢者で複数の合併症を有するため、高齢者医療や内科全般の診療が必要になる。地域のプライマリケアは高齢者の広範な内科診療を行っている。内科では特に神経内科、糖尿病、リウマチ、摂食嚥下などで専門外来・入院治療を行っているほか大学の放射線科、皮膚科、泌尿器科の医師や近隣の歯科医師が来院して診療や共同研究に参画しており、地域の幅広いニーズに応えている。整形外科は、高齢者の大腿骨骨折や膝関節症、腰部脊柱管狭窄症などの手術が多い。このほか在宅医療や緩和ケアに対する取り組みも進めている。			
研修内容アピール	当院の特徴は、通常の内科・整形外科等の診療の上に長年培ってきたリハビリテーション力と社会福祉士、臨床心理士、歯科衛生士等から成る多職種チーム医療を常時展開することで、高齢者でも身体機能を落とさないように入院から在宅復帰までのプロセスを円滑に進める実績を持っている点である。当院には回復期リハ病床、地域包括ケア病床、訪問診療、訪問看護、通所リハ、訪問リハ、緩和ケアなど地域医療の重要アイテムが揃っており、多職種間のチーム医療が根付いている。今やリハ、ケア、ソーシャルワーク活動なくして地域医療は成立せず、伝統に裏打ちされた地域包括ケア医療の実際を体験することができる。スタッフは心身両面に配慮できる全人的医療を目指して診療に従事している。			
診療科名 ※選択科は赤字	内科、循環器内科、心療内科、 <b>整形外科</b> 、リハビリテーション科			
事務担当	総務企画課 菊田 幸一郎			
住所	〒879-5193 大分県由布市湯布院町川南252			
TEL	0977-84-3171	FAX	0977-84-3969	
E-Mail	main@yufuin.jcho.go.jp	URL	http://yufuin.jcho.jp	

No.4	臼杵市医師会立コスモス病院			
研修実施責任者名	院長 下田 勝広			
病床数	202	1日平均外来患者数	87.1	
医師数	16.1	1日平均入院患者数	158.6	
研修医室	有	当直(回/月)	3~4	
病院の特徴	臼杵市唯一の急性期病院であり紹介外来型の地域医療支援病院です。このため二次救急病院として年間1000件以上の救急患者を受け入れています。また、高台に位置するため県内でも災害拠点病院としても重要な位置づけとなっています。DMATの活動も盛んで隣接する消防署と密に連携し現場に出動しています。市民健康管理センター、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、ヘルパーステーション、地域包括支援センターを併設の施設として有し、さらには介護老人保健施設「南山園」も傘下にあり文字通り臼杵地域の中核病院です。			
研修症例の特徴	疾患を問わず対応可能な救急患者の受け入れをおこなっているため指導医のもとプライマリー、総合診療が経験できます。また、急性期のみでなく慢性心不全、呼吸不全などの慢性疾患患者の在宅へ向けての多職種協働が実感でき、特に慢性心不全患者に対する心臓リハビリテーションを先進的に取り入れ自立、在宅に向けて積極的な介入をおこなっています。糖尿病に対しては病診連携の下、きめ細かな管理と指導をおこなっています。整形外科、消化器外科ではほぼ全ての標準術式を経験することが出来ます。また、癌に対する化学療法、疾患を問わない緩和療法なども地域のニーズに対応しています。			
研修内容アピール	多岐にわたる疾患、急性期から慢性期など様々な病態に対する診断、加療を経験できる上に地域医療・介護を切れ目なく多職種と協働しているため地域医療の現実が理解でき役割が実感されます。特に先進的モデル事業として臼杵市と共同し「臼杵市Z会議」という地域包括ケアシステムをいち早く取り入れ、これに関連した「うすき石仏ねつ」とを介して患者情報を医療、介護、行政などで共有可能となったICTの先進地域です。			
診療科名 ※選択科は赤字	内科、 <b>外科</b> 、神経内科、呼吸器科、循環器科、リウマチ科、 <b>整形外科</b> 、脳神経外科、こころ科、リハビリテーション科、放射線科、血液内科、消化器科、麻酔科、皮膚科			
事務担当	事務局長 佐藤 浩			
住所	〒875-0051 大分県臼杵市大字戸室1131番地1			
TEL	0972-62-5599	FAX	0972-62-3928	
E-Mail	info@usukicosmos-med.or.jp	URL	http://www.usukicosmos-med.or.jp/	

<b>No.5</b>	<b>杵築市立山香病院</b>			
<b>研修実施責任者名</b>	小野 隆 司			
<b>病床数</b>	138	<b>1日平均外来患者数</b>	180	
<b>医師数</b>	11	<b>1日平均入院患者数</b>	134	
<b>研修医室</b>	医局完備	<b>当直(回/月)</b>	3	
<b>病院の特徴</b>	病院は一般病棟(78床)、地域包括ケア病棟(36床)、医療療養病棟(24床)で構成され、昨年の救急搬送者数は年間450件であった。介護老人保健施設(50床)、福祉ステーション(居宅介護支援事業所・訪問看護ステーション・ヘルパーステーション)をなどの介護・福祉施設を併設し、地域包括ケアを実践する杵築・速見地区の中核病院である。予防も併設の健診センターで年間約3,700人の健診を行っている。			
<b>研修症例の特徴</b>	地域の医療・保健・介護を公立病院として支え、バランスよく地域医療を学ぶ事ができる事が特徴である。地域医療に必要な総合医の育成を考えている。総合診療科はプライマリ・ケアを重視した研修が可能であり、内科は内分泌・糖尿病、循環器の専門医が常勤であり、専門に加え総合内科としての研修も可能である。外科は消化器・一般外科の診断・治療(手術・癌化学療法など)から外傷や緩和治療まで幅広い研修が可能で、小児科は小児科疾患全般の研修が可能である。泌尿器科は指導医のもとで泌尿器科全般の診断から治療まで研修可能であり、透析医療も導入から維持透析まで幅広く研修できる。			
<b>研修内容アピール</b>	地域に密着した医療を幅広く学ぶ事ができ、各科の協力で地域に必要な総合医の育成を想定している。公立病院は行政と保健分野での連携が必要で、健診センターでの予防と併せ、保健領域での研修も可能である。地域包括ケアの理解に必要な在宅医療・介護連携などを広く学べる。指導医が研修総括責任者であり、研修計画から診療現場まで責任を担い、メンタルヘルスクアに十分に留意し、研修指導方法も柔軟に対応することができる。入院カンファレンス、回診を毎日行い、多職種連携のカンファレンスを頻繁に行っている。医局勉強会・症例検討会も毎週行っている。当院の研修で地域医療を実体験し、生涯の医療活動に役立つように指導し、興味ある症例は指導医とともに学術集会や研究会で報告を促したい。			
<b>診療科名</b> ※選択科は赤字	総合診療科、 <b>内科</b> 、 <b>外科</b> 胃腸科、 <b>小児科</b> 、泌尿器科、整形外科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、 <b>地域医療</b>			
<b>事務担当</b>	事務長 岩尾 豊彦			
<b>住所</b>	〒879-1307 大分県杵築市山香町大字野原1612番地1			
<b>TEL</b>	0977-75-1234	<b>FAX</b>	0977-75-0873	
<b>E-Mail</b>	jimuchou@yamaga-hosp.jp	<b>URL</b>	http://www.yamaga-hp.jp/	

<b>No.6</b>	<b>国東市民病院</b>			
<b>研修実施責任者名</b>	副院長 野邊 靖基			
<b>病床数</b>	208	<b>1日平均外来患者数</b>	268.9	
<b>医師数</b>	18	<b>1日平均入院患者数</b>	180.7	
<b>研修医室</b>		<b>当直(回/月)</b>	3	
<b>病院の特徴</b>	国東半島の拠点病院として、地域完結型医療を目指して取り組んでいます。近くに大分空港があり、救急医療の面からも重要な病院として注目されています。海と山に囲まれたとても静かで過ごしやすい環境で、療養には最適な環境です。			
<b>研修症例の特徴</b>	プライマリケアから二次医療まで、様々な症例を経験することができます。高齢化率の高い地域のため、年齢層としては高齢者が大部分を占めています。			
<b>研修内容アピール</b>	当院は、平成24年5月1日に新病院をオープンしました。MRI・CT等最新の医療システムを導入し、とても快適な研修ができるようになりました。また、同時に電子カルテも新規に稼働して最新の医療情報システムが使用できます。ナースコールも院内PHSと連動して夜間勤務等の連絡も容易にできるよう改善いたしました。地域拠点病院として、総合医育成には絶好の環境にあります。			
<b>診療科名</b> ※選択科は赤字	<b>内科</b> ・循環器内科・消化器内科・神経内科・呼吸器科・ <b>外科</b> ・整形外科・産婦人科・ <b>小児科</b> ・麻酔科・リハビリテーション科・耳鼻科・皮膚科・脳神経外科・ <b>肛門科</b> ・泌尿器科・精神科・歯科口腔外科			
<b>事務担当</b>	庶務係長 宮本 享			
<b>住所</b>	〒873-0298 大分県国東市安岐町下原1456番地			
<b>TEL</b>	0978-67-1211	<b>FAX</b>	0978-67-3190	
<b>E-Mail</b>	kunisaki@kunisaki-hp.jp	<b>URL</b>	http://www.kunisaki-hp.jp/	

<b>No.7</b>	<b>竹田医師会病院</b>			
<b>研修実施責任者名</b>	院長代行 白石 晴士			
<b>病床数</b>	156	<b>1日平均外来患者数</b>	38	
<b>医師数</b>	5	<b>1日平均入院患者数</b>	134	
<b>研修医室</b>	無	<b>当直(回/月)</b>	4	
<b>病院の特徴</b>	<p>当院は昭和43年、(現)一般社団法人竹田市医師会により共同利用型病院として開設されました。現在は一般病棟84床、療養病棟72床の計156床で地域医療の貢献に努めています。大分県の南西部、熊本県と境を接する竹田市に位置しているため、診療圏は竹田市のみならず、豊後大野市、阿蘇市を含み、対象人口は4万人に及んでいます。豊肥医療圏の中核拠点病院として良質の医療サービスを提供し続けております。また、地域住民の皆様から信頼される病院であるべく、大分県から平成26年3月1日付で「大分DMAT指定医療機関」の指定を、さらに平成28年4月1日付で「二次救急指定病院」および「へき地医療拠点病院」、平成29年6月1日付で「地域医療支援病院」の認定を受け、救急医療体制の強化にも尽力しているところですので、研修先として適していると存じます。</p>			
<b>研修症例の特徴</b>	内視鏡、経鼻内視鏡検査、手術はもちろんの事、マムシやムカデ咬傷等、豊肥地区ならではの診療を行っています。			
<b>研修内容アピール</b>	<p>当院は一般病棟と療養病棟156床の小～中規模の病院で、「アットホーム」な職場です。規模が小さいので、他科の先生とすぐに顔なじみになります。院内での研修は毎朝、指導医とともに検査、治療予定のチェック、患者の把握を行います。また訪問看護研修も当院の特色です。医師会立病院でありますので、開業医の病医院や「特養」「老健」での研修も希望があれば可能です。研修医を「お客様扱い」することはありません。積極的に研修に参加してもらいます。「二次救急指定病院」ですので当直、救急患者の診療体験も行っていただきます。</p>			
<b>診療科名</b> ※選択科は赤字	内科、呼吸器科、消化器科(胃腸科)、循環器科、小児科、外科、整形外科、リハビリテーション科、放射線科、 <b>地域医療</b>			
<b>事務担当</b>	事務部 企画・医療情報管理課 堀 忠臣			
<b>住所</b>	〒878-0025 大分県竹田市大字拝田原448番地			
<b>TEL</b>	0974-63-3241	<b>FAX</b>	0974-63-0193	
<b>E-Mail</b>	jimu-hori@tmah.or.jp	<b>URL</b>	http://taketaiskaibyoin.com/	

<b>No.8</b>	<b>津久見市医師会立津久見中央病院</b>			
<b>研修実施責任者名</b>	院長 石川 浩一			
<b>病床数</b>	120	<b>1日平均外来患者数</b>	117.1	
<b>医師数</b>	9	<b>1日平均入院患者数</b>	105.9	
<b>研修医室</b>	1	<b>当直(回/月)</b>	3	
<b>病院の特徴</b>	<p>津久見市の医療・福祉・保健ゾーンの拠点として津久見市医師会が開設した市内唯一の一般病院です。(一般病棟85、特殊疾患療養病棟:26、地域包括ケア病床:9)一次医療を担う医師会員診療所の後方支援病院として大分大学医学部と連携して医療サービスを提供し地域の皆様にご利用いただいています。24時間の救急医療体制、へき地(四浦地区、無垢島)巡回診療などにも力を入れています。地域の医療・福祉・保健の中核となれるよう、津久見市や併設の介護老人保健施設つくみかんを代表とする介護保険関連の事業所、訪問看護ステーション、併設の市民健康管理センターなどと緊密に連携しています。</p>			
<b>研修症例の特徴</b>	<p>市内唯一の救急標榜施設であるため、幅広い症例が集まり救急の初期対応についての研修ができます。また、高齢で合併症を多く有する患者の急性期から慢性期にかけての診断・治療・介護計画など多岐にわたる医療活動を経験しながら、現代に必要な医師としての問題解決能力を身につけることができます。</p>			
<b>研修内容アピール</b>	<p>当施設においては、2年目必修科目である地域医療分野において最大1か月研修を行います。腎臓・糖尿病内科、循環器科を中心とした一般内科や外科、整形外科、泌尿器科、人工透析、救急と初期研修において幅広い症例が豊富にあり、夜間救急体制については医師会の当番医と連携し2次救急医療機関としての役割分担ができています。へき地医療拠点病院として半島部、離島への年70回以上の巡回診療の実績があります。また、隣接した介護老人保健施設をはじめとして各施設の入所者の急変時にも受入れ体制を整え、地域医療にかかせない介護・医療の連携体制が確立できています。高速道路で大分市から50分程度の距離とはいえ、高齢化が進む津久見市唯一の2次救急医療機関としての役割は非常に大きく、臨床研修において地域医療を支える医師の使命と幅広い能力の必要性を研修できる最適の施設と言えます。</p>			
<b>診療科名</b> ※選択科は赤字	内科、循環器科、呼吸器科、外科、消化器科、胃腸科、こう門科、整形外科、小児科、泌尿器科、皮膚科、耳鼻咽喉科、気管食道科、精神科、放射線科、リハビリテーション科、 <b>地域医療</b>			
<b>事務担当</b>	事務局長 朝生剛次、事務長 星子裕二			
<b>住所</b>	〒879-2401 津久見市大字千怒6011番地			
<b>TEL</b>	0972-82-1123	<b>FAX</b>	0972-82-8411	
<b>E-Mail</b>	e-office@tsukumi.oita.med.or.jp	<b>URL</b>	http://tsukumi.oita.med.or.jp	

<b>No.9</b>	<b>宇佐高田医師会病院</b>			
<b>研修実施責任者名</b>	院長 柏木 孝仁			
<b>病床数</b>	110	<b>1日平均外来患者数</b>	53	
<b>医師数</b>	9	<b>1日平均入院患者数</b>	73	
<b>研修医室</b>	有	<b>当直(回/月)</b>	3~4	
<b>病院の特徴</b>	医師会立の開放型病院で、地域の中核病院として高度の医療機器を備え、診療科目外の疾患に関しては地元医師会及び近隣の連携病院とのネットワークで対応する事で救急医療に積極的に取り組んでいます。当院は、2次救急指定病院として地域の救急医療に多大な貢献をしていますが、へき地医療の充実にも力を入れており行政との密接な連携の上に30年の実績があります。さらに、検診センターも併設しており、64列マルチスライスCTやMRIによる充実した内容で地域住民の皆様の健康維持に大きな成果を上げています。			
<b>研修症例の特徴</b>	消化器内科は、消化管疾患及び肝臓・胆道・膵疾患に対する治療を行っています。特にESDも積極的に施行しており素晴らしい実績を上げています。また、救急を要する消化管出血や閉塞性黄疸などの疾患については外科との連携行いつつ24時間体制で対応しています。呼吸器内科では、非常に呼吸器疾患の多い地区であり、肺炎・気管支喘息・慢性気管支炎・肺気腫・肺癌等々の幅広い呼吸器疾患に対して日々の診療を行っています。			
<b>研修内容アピール</b>	当院は、時間外の患者を積極的に受け入れており救急搬送も多く日当直での診療では、救急疾患の症例を数多く経験でき、また2次救急指定病院ですが、緊急手術が必要な外科的緊急患者に対応可能な医療施設が不足しており、当院外科では、地域住民の強い要望にこたえる為万全のオンコール体制で外科的1次救急にも対応しております。			
<b>診療科名</b> ※選択科は赤字	内科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、血液内科、腎臓内科、外科、消化器外科、乳腺外科、リハビリテーション科、地域医療			
<b>事務担当</b>	事務長 熊谷 嘉典			
<b>住所</b>	〒872-0102 大分県宇佐市大宇南宇佐635番地			
<b>TEL</b>	0978-37-2300	<b>FAX</b>	0978-37-2307	
<b>E-Mail</b>	kuma@utihp.jp	<b>URL</b>	http://www.utihp.jp/	

<b>No.10</b>	<b>社会医療法人恵愛会 大分中村病院</b>			
<b>研修実施責任者名</b>	中村 太郎 (理事長・院長)			
<b>病床数</b>	260	<b>1日平均外来患者数</b>	254.4	
<b>医師数</b>	28	<b>1日平均入院患者数</b>	232.6	
<b>研修医室</b>	有	<b>当直(回/月)</b>	約4回/月	
<b>病院の特徴</b>	大分中村病院は大分市の中心部に位置し、「医療による社会貢献」を理念に掲げて実践している一般病院である。二次救急医療機関であり、年間の救急車搬入台数は約2000台、救急患者数は延べ約8000人となっている。関連施設「社会福祉法人太陽の家」等と連携を図り、「大分国際車いすマラソン」、「パラリンピック」など障がい者スポーツに協力している。			
<b>研修症例の特徴</b>	整形外科(脊椎外科・手外科含む)、外科、脳神経外科、形成外科、泌尿器科等の外科系専門医による複合外傷に対応する一方、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、糖尿病内科等の内科系専門医によるPTCA・ステント留置、内視鏡検査・処置などの救急処置など、総合的な医療に取り組んでいる。地域に密着したCommon Diseaseの診療、リハビリテーション医療も実施している。お互いに各専門領域の横断的な連携を保ち、地域の診療所との連携を取りながら開放病床も導入している。			
<b>研修内容アピール</b>	当院は、研修医数が少なめだからこそできる細やかな指導で、いろいろな手技を指導医や上級医から直接習得することができます。軽症から重症まで市中病院ならではの幅広い症例を経験することができます。第一線で研修を効率よく受けることができます。また、大分大学医学部附属病院との「たすき掛け研修(1ヶ月から3ヶ月間)」をすることができます。			
<b>診療科名</b> ※選択科は赤字	整形外科・脊椎外科・手外科・外科・脳神経外科・内科・循環器内科・消化器内科・腎臓内科・糖尿病内科・形成外科・泌尿器科・リハビリテーション科・肛門外科・リウマチ科・心臓血管外科・産婦人科・眼科・放射線科・麻酔科			
<b>事務担当</b>	総務部総務課 総合臨床研究センター運営室 佐藤 秀美			
<b>住所</b>	〒870-0022 大分県大分市大手町3丁目2番43号 大分中村病院			
<b>TEL</b>	097-536-5050(代)	<b>FAX</b>	097-537-5261(直)	
<b>E-Mail</b>	clinicaljim@nakamura-hosp.or.jp	<b>URL</b>	http://www.nakamura-hosp.or.jp	

No.11	西田病院			
研修実施責任者名	理事長 西田 尚史			
病床数	244	1日平均外来患者数	480	
医師数	21	1日平均入院患者数	207	
研修医室	1	当直(回/月)	3	
病院の特徴	当院は昭和10年に産婦人科病院として開業した歴史ある病院です。これまで2次救急指定の西田病院と慢性期疾患を中心とした西田厚徳病院とで診療を行ってまいりましたが、平成24年4月より西田病院は新築移転、西田厚徳病院と統合し1つの病院となりました。これまで以上に急性期から慢性期まで地域に密着した総合的な医療を提供してまいります。			
研修症例の特徴	地域医療では外科系、内科系、周産期医療等各診療科におきまして幅広い分野を経験できます。地域の提携老人施設等の往診等も同行してもらっております。小児科では、大学と密接に連携が図られており、一般小児科、特殊疾患、新生児の診療を行っております。また救急指定病院になりますので、昼夜を問わず救急医療も体験できます。			
研修内容アピール	研修医1名につき1名の指導医がつき、検査、治療指針について指導医と相談しながら計画実行していきます。また研修医の希望も組み入れたプログラムを構築していきたいと考えております。			
診療科名 ※選択科は赤字	産婦人科、内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、リウマチ科、腎臓内科、人工透析内科、外科、整形外科、脳神経外科、消化器外科、肛門外科、 <b>小児科</b> 、泌尿器科、皮膚科、眼科、麻酔科、リハビリテーション科、神経小児科、放射線科、 <b>地域医療</b>			
事務担当	総務課 菊池 真也			
住所	〒876-0047 大分県佐伯市鶴岡西町2丁目266番地			
TEL	0972-22-0180	FAX	0972-24-0503	
E-Mail	n-somu@nisida-med.jp	URL	www.nisida-med.jp/	

No.12	医療法人 中津第一病院			
研修実施責任者名	牟田口 和昭			
病床数	180	1日平均外来患者数	108	
医師数	11	1日平均入院患者数	102	
研修医室	無	当直(回/月)	2~3	
病院の特徴	当院は、福沢諭吉の誕生地として有名な大分県北部にある中津市に位置しており、これまで40年以上にわたって地域の皆様方の医療と健康に寄与してまいりました。当院の診療科目の中で特筆すべきは泌尿器科、外科、内科(人工透析)により骨盤内の疾患に対しワンストップで検査から手術治療まで行えることです。今年2月より電子カルテを導入し医師の負担軽減にも努めております。今後も当院の基本理念である、思いやりを真ん中にをモットーとし、最新かつ質の高い医療と患者様を尊重した優しく快適な医療サービスを行います。			
研修症例の特徴	昨年(H29年)泌尿器科の手術件数では、LSC(腹腔鏡下仙骨腫固定術)を12例実施、LRP(腹腔鏡下前立腺全摘除術・大分県内で認定施設は2施設)は39例、TUL(経尿道的尿路結石除去術)は189例、県北で唯一のESWL(体外衝撃波結石破砕術)は40例と県下有数の症例数を行っております。当院全体の手術件数は昨年で619件行っており、初歩的な泌尿器科の手術から、LRP(腹腔鏡下前立腺全摘除術)といった幅広い手術を、指導医の元で経験することができます。			
研修内容アピール	当院の泌尿器科では、午前は外来・病棟業務になります。外来、入院患者の問診から始まり、エコー検査・CT検査・治療方針の立案、カンファレンス、病棟回診など基本的な内容を研修して頂きます。午後からは手術室に入って頂き、指導医の元、直接指導を受けることができます。			
診療科名 ※選択科は赤字	<b>泌尿器科</b> 、内科、腎臓内科(人工透析)、消化器内科(内視鏡)、糖尿病内科、消化器外科、リハビリテーション科、麻酔科、形成外科、 <b>地域医療</b>			
事務担当	総務課 中田			
住所	〒871-0012 大分県中津市宮夫252番地2			
TEL	0979-23-1123	FAX	0979-23-0039	
E-Mail	nakatsu-daiichi@cronos.ocn.ne.jp	URL	http://www.nakatsu-daiichi.jp/	

<b>No.13</b>	<b>社会医療法人三愛会大分三愛メディカルセンター</b>			
<b>研修実施責任者</b>	院長 森 義頭			
<b>病床数</b>	179	<b>1日平均外来患者数</b>	298	
<b>医師数</b>	29	<b>1日平均入院患者数</b>	159	
<b>研修医室</b>	有	<b>当直(回/月)</b>	—	
<b>病院の特徴</b>	<p>大分市の二次救急病院として指定を受け、2006年に「救急部門」と「専門診療部門」の2つを柱とした急性期の医療に対応できる施設と診療体制を整えた新病院へ移転しました。2009年11月にそれらの診療活動が認められ、社会医療法人の認定を受けることが出来ました。</p> <p>また、大分DMAT(災害医療派遣チーム)に所属し救急医療に取り組んでいます。</p> <p>関連施設として老人保健施設「わさだケアセンター」、のつはる診療所、有料老人ホーム「さんさん」、特別養護老人ホーム「そだの森」「天領ガーデン」を擁し、急性期、回復期、慢性期や訪問診療などの継続診療を行い、病診連携のもと地域連携完結型医療を目指して診療を行っています。</p> <p>2016年6月には「三愛総合健診センター」「消化器・内視鏡センター」がリニューアルして、健康診断、各種がん健診、人間ドック、脳ドックがより充実しました。</p>			
<b>研修症例の特徴</b>	<p>研修症例の特徴として、二次救急病院として大分市南部のみならず、広く由布市・竹田市・豊後大野市からも救急患者を受け入れ24時間365日の断らない医療を行っております。</p> <p>各診療科の特徴症例についてはホームページに掲載しております。</p>			
<b>研修内容アピール</b>	<p>2年目必修科目である地域医療分野において、当センター各診療科で研修はもちろんの事、地域医療の在り方と現状を実感して頂けるように関連施設である診療所で訪問診療中心の研修、また、老人保健福祉施設並びに有料老人ホームにて高齢者医療について見学・研修を行っております。また研修スケジュールについては申出の希望分野や診療行為に対し出来る限りご希望に沿う形で調整を行っております。</p>			
<b>診療科名</b> ※選択科は赤字	<p>外科、消化器外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、大腸・肛門科、整形外科、リハビリテーション科、形成外科、脳神経外科、内科、神経内科、消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、糖尿病・内分泌内科、リウマチ科、泌尿器科、放射線科、救急科、麻酔科、地域医療</p>			
<b>事務担当</b>	診療部 医師事務係 法常香代			
<b>住所</b>	〒870-1151 大分市大字市1213番地			
<b>TEL</b>	097-541-1311	<b>FAX</b>	097-541-5218	
<b>E-Mail</b>	noritsune@san-ai-group.org	<b>URL</b>	http://www.san-ai-group.org/	

<b>No.14</b>	<b>社会医療法人財団天心堂へつぎ病院</b>			
<b>研修実施責任者名</b>	石丸 修			
<b>病床数</b>	188	<b>1日平均外来患者数</b>	205	
<b>医師数</b>	19	<b>1日平均入院患者数</b>	154	
<b>研修医室</b>	無	<b>当直(回/月)</b>	2	
<b>病院の特徴</b>	<p>* 入院・救急を主体とした病院 外来機能と入院機能を分離 * 回復期リハビリテーション病棟1 * 地域包括ケア病床 * 緩和ケア病棟 * 二次救急指定病院 * 透析センター・リハビリテーションセンター 内視鏡センター</p> <p>* へき地医療拠点病院 * 全日被災時医療支援幹事指定病院</p> <p>* 日本腎臓学会研修施設/日本内科学会教育関連病院/日本眼科学会専門医制度研修施設/日本外科学会外科専門医制度関連施設/日本泌尿器科学会泌尿器科専門医教育施設/日本透析医学会透析認定施設/日本呼吸器学会関連施設/日本呼吸器内視鏡学会関連認定施設/日本循環器学会専門医研修関連施設/日本消化器学会認定施設/日本消化器内視鏡学会指導施設/がん精密検査協力医療機関/一泊人間ドック実施指定病院/日本病態栄養学会/認定栄養管理・NST実施施設/日本静脈経腸栄養学会認定NST稼働実施施設/NCD施設会員</p>			
<b>研修症例の特徴</b>	<p>* プライマリケアの基本を2年間で修得できる 救急・入院・外来の基本手技・処置・対応etc</p> <p>* 地域包括医療の全般を知る事ができる</p> <p>* 予防より終末期医療までのすべてを体験でき、それぞれのステージにおける医療倫理的対応・処方方針が修得できる</p> <p>* トリアージ能力の修得</p>			
<b>研修内容アピール</b>	<p>一般内科、糖尿病、消化器(内視鏡的治療等)、腎機能傷害(透析治療等)・呼吸器内科(感染症治療等)、一般外科/特に消化器系を中心に、良悪性疾患、各種ヘルニア、鏡視下手術から縮小手術及び拡大手術、虚血性脳血管障害、ESWL(体外衝撃波)、経尿道的各種手術、心臓カテーテル検査・手術、睡眠時無呼吸検査・治療、小児気管支喘息の予防的治療等、白内障、緑内障、翼状片</p> <p>* 当直は各科と調整協議の上実施する</p>			
<b>診療科名</b> ※選択科は赤字	<p>内科、呼吸器内科、糖尿病内分泌内科、腎臓内科、外科、小児科、麻酔科、眼科、脳神経外科、泌尿器科、整形外科、神経内科、リウマチ科、耳鼻咽喉科、皮膚科、放射線科、リハビリテーション科、循環器内科、地域医療</p>			
<b>事務担当</b>	後藤 政彦			
<b>住所</b>	〒879-7761 大分市大字中戸次字二本木5956番地			
<b>TEL</b>	097-597-5777	<b>FAX</b>	097-597-5833	
<b>E-Mail</b>	goto_masahiko@tenshindo.org	<b>URL</b>	http://www.tenshindo.org/	

<b>No.15</b>	<b>野口病院</b>			
<b>研修実施責任者名</b>	内野 真也(副院長, 統括外科部長), 内海 玲子(統括麻酔科部長)			
<b>病床数</b>	120	<b>1日平均外来患者数</b>	196	
<b>医師数</b>	20	<b>1日平均入院患者数</b>	51.2	
<b>研修医室</b>	有	<b>当直(回/月)</b>	—	
<b>病院の特徴</b>	当院は1922年(大正11)に創設された歴史ある病院として、甲状腺疾患の治療と研究にあたり、「バセドウ病 甲状腺の野口」の名は広く甲状腺専門病院として国内外に知られており、全国の甲状腺専門病院の多くは当院から輩出されています。全国(あるいは海外からも)甲状腺の患者さんが受診され、手術を受けています。2013年に別府市青山町に新築移転し、放射線ヨウ素内用療法入院施設が8床あり、PET-CTや各種シンチグラムなどの医療検査機器も充実しています。手術はオンライン画像システムを導入し、院内の各部署から全症例閲覧可能です。甲状腺や頭頸部に特化した診療経験を豊富に積めることはもちろんのこと、研究施設も充実しており、近年では次世代シークエンサーを導入するなど、遺伝子研究に特に力を入れています。甲状腺がん登録システムを1945年から継続して行っており、追跡率99%以上であり、50年～60年生存率を算出することができます。			
<b>研修症例の特徴</b>	手術は月曜～金曜の毎日、午後行っており、毎年約1,000例の甲状腺手術を行っています(平成29年度の内訳は甲状腺癌53%、甲状腺良性腫瘍21%、バセドウ病19%、副甲状腺機能亢進症他7%です)。午前中は病棟回診・診察、外来問診・診察、頸部超音波検査、穿刺吸引細胞診などが主な業務内容です。また月曜～金曜の毎日、入院紹介・画像読影・手術と病理結果の検討を行う症例カンファレンスを開催しています。基本的に一日の研修は17時までには終わり、残業はほとんどありません。			
<b>研修内容アピール</b>	地域医療に関しては、内科・外科ともに臨床研修指導医が数名常勤しており、甲状腺・副甲状腺疾患、糖尿病などの内分泌・代謝疾患について基礎から応用まで行き届いた指導が可能です。1ヶ月間で約50例の甲状腺手術の助手が経験できます。また助手経験としてのNCD登録も可能です。 麻酔科研修に関しては、当院は麻酔科認定病院に指定されており、年間約1,000例の甲状腺手術の麻酔管理を行っています。現在、麻酔指導医が2名常勤しており全身麻酔における基本的な技術の習得と適切な麻酔計画の作成を目標に指導しています。			
<b>診療科名 ※選択科は赤字</b>	内科、外科、放射線科、病理診断科、 <b>麻酔科</b> 、 <b>地域医療</b>			
<b>事務担当</b>	吉弘 元信(事業本部長)			
<b>住所</b>	〒874-0902 大分県別府市青山町7番52号			
<b>TEL</b>	0977-21-2151	<b>FAX</b>	0977-21-2155	
<b>E-Mail</b>	mh1967@noguchi-med.or.jp	<b>URL</b>	<a href="http://www.noguchi-med.or.jp/">http://www.noguchi-med.or.jp/</a>	

<b>No.16</b>	<b>永富脳神経外科病院</b>			
<b>研修実施責任者名</b>	湧川 佳幸			
<b>病床数</b>	153	<b>1日平均外来患者数</b>	76	
<b>医師数</b>	13	<b>1日平均入院患者数</b>	128	
<b>研修医室</b>	無	<b>当直(回/月)</b>	3	
<b>病院の特徴</b>	昭和53年開設以来脳外科に専門特化し、急性期脳外科疾患の臨床実績を豊富に有しています。常に最先端の治療に触れながら最善の医療の提供を探求しています。最新機器による診断画像をもとに全診療科医師による症例検討を毎朝行う等、チーム医療で取組み、診療実績の向上に効果を上げています。外科手術、脳血管内治療、t-PA投与等の選択肢から最良の治療を常時提供できる体制にあります。開頭せずに脳腫瘍を治療できるガンマナイフ設備を大分県内で唯一有しています。脳卒中中の急性期リハビリには開業以来取り組んでおり、脳血管疾患リハビリが充実しています。一般病床83床、回復期リハ39床、療養病床31床。			
<b>研修症例の特徴</b>	年間約1400人程の入退院患者がそれぞれあり、急性期から回復期、維持期と幅広く脳神経外科領域の症例を経験できます。平均的な当院の症例比率は、脳卒中が約50%、脳腫瘍が約20%、頭部外傷によるものが約10%となっており、急性期症例の大半を占める脳卒中は、脳梗塞70%、脳出血15%、クモ膜下出血5%、のそれぞれ比率を占めています。			
<b>研修内容アピール</b>	64列CT、1.5T-MRI、フラットパネル型脳血管撮影装置など、高水準の検査機器類の診断画像を活用し、急性期患者の救急車受入対応から、t-PA投与、脳血管内治療、ガンマナイフ治療など、経験豊富な専門医の指導のもとに症例を担当できます。PACSを活用した新入院全症例を対象にした毎朝のカンファレンスには常勤全医師が参加し、診断・治療方針の検討とアドバイスを受けることができ、全診療科の医師やスタッフとともにチーム医療で取り組みます。			
<b>診療科名 ※選択科は赤字</b>	<b>脳神経外科</b> 、神経内科、脳血管内科、神経眼科、放射線科、リハビリテーション科			
<b>事務担当</b>	運営企画課 首藤 浩司			
<b>住所</b>	〒870-0820 大分市西大道2丁目1番20号			
<b>TEL</b>	097-545-1717	<b>FAX</b>	097-545-1745	
<b>E-Mail</b>	syutou@nagatomi-hp.com	<b>URL</b>	<a href="http://www.nagatomi-hp.com/">http://www.nagatomi-hp.com/</a>	

<b>No.17</b>	<b>中村病院</b>			
<b>研修実施責任者名</b>	院長 中村 英助			
<b>病床数</b>	153	<b>1日平均外来患者数</b>	234.6	
<b>医師数</b>	14	<b>1日平均入院患者数</b>	124.4	
<b>研修医室</b>	無	<b>当直(回/月)</b>	4	
<b>病院の特徴</b>	一般病床106床(うち地域包括ケア病床20床含む)、医療型療養病床47床。透析センター:ベッドサイドコンソール26台、同時透析能力26人、CAPDも対応。平均在院日数:一般病床20.0日、療養病床282.6日。結石破碎センター:年間新患ベースで200強の結石破碎を施行。成績は99%以上の破碎効果を得ている。腎・尿路結石破碎治療の最新装置を導入。リハビリテーション科:運動療法・物理療法はもちろん、特に痛みや運動制限などに有効とされる徒手療法を積極的におこなっています。またパワーリハビリテーションを導入し、高齢者の健康増進・疾病予防に効果を発揮しており、活動的な生活への自立を支援しております。			
<b>研修症例の特徴</b>	泌尿器科:主な対象疾患としては前立腺肥大症、泌尿器科腫瘍(前立腺癌、膀胱腫瘍、腎腫瘍、腎盂腫瘍など)尿路結石、男性不妊症など。 整形外科:慢性疾患に関しては脊椎疾患と関節疾患を対象としており、脊椎疾患としては腰椎および頸椎椎間板ヘルニア、変形性脊椎症、リウマチ性頸椎疾患など、関節疾患として、変形性股関節症、変形性膝関節症、慢性関節リウマチ、小児股関節脱臼などを主に扱っています。			
<b>研修内容アピール</b>	泌尿器科:平成26年度手術件数約500例。希望する手術は全て研修可。 整形外科:外傷(骨折、腱断裂等)を中心に年間200症例の手術。半月板損傷や靭帯損傷においては関節鏡下にて手術施行。変形性膝関節症や変形性股関節症など人工関節置換術を年間20症例ほど施行。他には、痛風、軟部腫瘍、蜂窩織炎等の化膿性疾患も多く治療。			
<b>診療科名</b> ※選択科は赤字	内科、糖尿病内科、呼吸器内科、 <b>血液内科</b> 、消化器内科、消化器外科、循環器科、外科、 <b>整形外科</b> 、形成外科、皮膚科、 <b>泌尿器科</b> 、肛門外科、リハビリテーション科、麻酔科、 <b>地域医療</b>			
<b>事務担当</b>	総務課 : 岡田(オカダ)			
<b>住所</b>	〒874-0937大分県別府市秋葉町8番24号			
<b>TEL</b>	0977-23-3121	<b>FAX</b>	0977-26-4083	
<b>E-Mail</b>	okada@nakamura-med.or.jp	<b>URL</b>	http://www.nakamura-med.or.jp/	

<b>No.18</b>	<b>大久保病院</b>			
<b>研修実施責任者名</b>	犀川 哲典(院長)			
<b>病床数</b>	136	<b>1日平均外来患者数</b>	119	
<b>医師数</b>	11	<b>1日平均入院患者数</b>	122	
<b>研修医室</b>	有	<b>当直(回/月)</b>	5	
<b>病院の特徴</b>	当院はくじゅう連山の麓、久住町にあり、急性期医療から介護、在宅医療までを総合的に担う中核病院である。最新の腹腔鏡下及び関節鏡手術をはじめとする各種手術や、高気圧酸素治療・リハビリテーション・MRI・CT 電子スコープなどの最新医療機器を駆使した高度機能病院としての役割と通常の地域に密着した病院としての役割を果たしています。また、介護老人保健施設「ヴァルド・グラスくじゅう」(85床)・訪問看護ステーション・認知症高齢者グループホーム・小規模多機能型居宅介護施設・夜間対応型訪問介護センター等を併設。法人の総合力で在宅と施設をつなぐ「地域包括支援システム」への取り組みも始めています。今後の高齢社会に対応すべく更なる高度な医療と在宅サービスの充実を目指します。久住は小さな町ですが、人情豊かでさわやかな高原の町です。この町で保健・医療・介護サービスの提供に、職員一同頑張っています。			
<b>研修症例の特徴</b>	高齢化率40%、日本でも有数の高齢化地域です。地域中核病院として救急も積極的に受け入れ、地域の救急体制が学べます。訪問看護介護リハビリ、さらには医療と介護の垣根を越えた地域包括支援システムにも取り組み、地域内における医療・介護・福祉を総合的に学習できます。また、医療情報の電子化に積極的に取り組んでいます。			
<b>研修内容アピール</b>	医師の仕事をし少しでも軽減するために医師事務作業補助者を配置し、看護師やCoメディカルスタッフとの連携もお互いを尊重し仕事に取り組める環境です。病院周辺には豊かな自然があふれ、心癒される環境が沢山あります。地域の方々より近い関係を築き、顔の見える医療を学ぶことができます。			
<b>診療科名</b> ※選択科は赤字	内科・循環器内科・神経内科・消化器内科・膠原病内科・呼吸器内科・整形外科・外科・乳腺外科・呼吸器外科・消化器外科(胃腸、肛門)・リハビリテーション科・泌尿器科・麻酔科(ペインクリニック)・婦人科、 <b>地域医療</b>			
<b>事務担当</b>	事務部庶務課長 倉橋 大吾			
<b>住所</b>	〒878-0204 大分県竹田市久住町栢木6026-2			
<b>TEL</b>	0974-64-7777	<b>FAX</b>	0974-77-2247	
<b>E-Mail</b>	dai@okubo-hp.com	<b>URL</b>	http://www.okubo-hp.com http://www.facebook.com/okubohp/	

No.19	医療法人新生活会 高田中央病院			
研修実施責任者名	瀧上 茂			
病床数	132	1日平均外来患者数	320	
医師数	12	1日平均入院患者数	113	
研修医室	有	当直(回/月)	3	
病院の特徴	救急告示病院として急性期医療(102床)を中心に、慢性期医療(30床)、在宅診療、へき地診療体制を有する。更に、大学や地域医療機関と密に連携し、幅広い外来診療体制を設置。又、マルチ(40)スライスCT、MRI、血管造影装置、頸動脈エコー、マンモグラフィーなどの医療機器に加え、最新の内視鏡システムを完備した消化器疾患内視鏡センター、或いは血液透析センター、遠隔画像診断センターなどの充実した設備基盤を有する。			
研修症例の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内科(総合診療)では急性期から慢性期の総合的診療に加え、多くの専門科を設置。また消化器疾患内視鏡センターでは、最新の内視鏡システムを用いて、数多くの内視鏡診断・治療手技を実践している。</li> <li>・泌尿器科では血尿、排尿障害などの泌尿器科疾患に加え、腎臓病などの疾患の外来診療を毎日行っている。前立腺肥大症に関しては従来の内視鏡手術に加え、温熱療法も取り入れている。</li> <li>・外科では上記の消化器疾患、肛門疾患(悪性腫瘍やポリープ切除術)や乳がんの内視鏡的治療及び手術を実施している。また化学療法と緩和ケアも行っている。</li> <li>・皮膚科ではアレルギー疾患のスキンケアから治療、またホクロなどの皮膚腫瘍の手術ならび超弾性ワイヤーを用いた嵌爪の治療を実施し、NSTを駆使したチーム医療を行い褥瘡などの治療を行っている。</li> </ul>			
研修内容アピール	豊後高田市内に診療所と介護老人保健施設を有し、通所リハビリテーション施設を併設した132床の豊後高田市及び宇佐市の一部を含めた地域の中核的な病院。外来患者、救急車搬入回数も多く、急性期から慢性期の医療に取り組める。又、最新の内視鏡診断・治療手技を実践する一方で、へき地医療拠点病院としての往診、隣接する居宅施設への回診、或いは遠隔画像診断装置を介した近隣医療機関との連携など、地域医療を幅広く経験可能。			
診療科名 ※選択科は赤字	内科(総合診療、消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、糖尿病内科、肝臓内科、神経内科、血液内科、リウマチ膠原病内科)、外科、大腸・肛門外科、胃腸外科、整形外科、皮膚科、眼科、泌尿器科、小児科、放射線科、リハビリテーション科、地域医療			
事務担当	瀧上 淳			
住所	〒879-0627 豊後高田市新地1176番地1			
TEL	0978-22-3745	FAX	0978-22-3788	
E-Mail	takigamijun@takachuo.com	URL	http://www.takachuo.com/	

No.20	医療法人社団 知心会 一ノ宮脳神経外科病院			
研修実施責任者名	院長 丸岩 光			
病床数	80	1日平均外来患者数	232	
医師数	常勤 5名	1日平均入院患者数	74	
研修医室	なし	当直(回/月)	1	
病院の特徴	日田市の中心部に位置する80床(急性期一般病棟54床、回復期リハビリテーション病棟26床)の救急指定病院である。外来患者は日田市のほか、玖珠郡・中津市・福岡県うきは市・熊本県小国町など広範囲にわたる。また最新鋭64列マルチスライスCT・3テスMRI・1.5テスMRI・DSA機を備え、様々な脳疾患に対応できる設備がある。			
研修症例の特徴	①オリエンテーション ②病棟研修・回診 ③外来研修(週に2~3回) ④症例検討会・カンファレンス・勉強会 ⑤興味有る症例の場合学会・研修会での報告			
研修内容アピール	日当直は月1回、研修医が単独での業務は行わず、指導医とペアで業務にあたる。1年目は指導医の診察、治療の見学及び診察の補助業務が中心であるが、2年目からは症例によっては初診の診察をしていただき、必要に応じて指導医からのアドバイスを受け治療を行う。当院では積極的に救急患者を受け入れており、救急搬送も多く、緊急疾患の症例を数多く経験でき、研修医にとっても重要な研修の場であると考えている。			
診療科名 ※選択科は赤字	脳神経外科、外科、麻酔科、放射線診断科、リハビリテーション科			
事務担当	事務長 樋口 征治			
住所	〒877-0041 大分県日田市竹田新町2-48			
TEL	0973-24-6270	FAX	0973-23-2810	
E-Mail	info@ichinomiya-nh.com	URL	http://www.ichinomiya-nh.com	

No.21	医療法人社団唱和会 明野中央病院			
研修実施責任者名	木下 昭生			
病床数	75一般病床	1日平均外来患者数	194	
医師数	9	1日平均入院患者数	74	
研修医室	無	当直(回/月)	無	
病院の特徴	一般病棟45床(地域包括ケア病床10床含む)、回復期リハビリテーション病棟(30床)の一般病院です。内科を中心とした生活習慣病管理、手術を含む整形外科の専門的治療、回復期リハビリテーションに集中して取り組んでいます。地域自治会や病院ボランティアとの交流など地域に根差した医療を信条としています。			
研修症例の特徴	内科は高血圧、糖尿病、消化器内科は内視鏡的診断・治療を充実させています。整形外科は外傷、関節、脊椎手術を年間約900例施行しています。ロコモティブシンドローム(運動器症候群)に対応するため「こつ・かんせつ・リウマチセンター」を開設し、運動器疾患の専門的治療に取り組んでいます。			
研修内容アピール	地域医療に関する基本的な研修ができます。			
診療科名 ※選択科は赤字	内科、整形外科、リウマチ科、 <b>消化器内科</b> 、形成外科、リハビリテーション科、 <b>麻酔科</b> 、放射線科、 <b>地域医療</b>			
事務担当	里谷 和幸			
住所	〒870-0161 大分県大分市明野東2丁目7-33			
TEL	097-558-3211	FAX	097-558-3709	
E-Mail	akenohp@fat.coara.or.jp	URL	http://www.akenohp.jp	

No.22	医療法人福寿会 日野病院			
研修実施責任者名	日野 修一郎			
病床数	60	1日平均外来患者数	73	
医師数	4	1日平均入院患者数	49	
研修医室	有	当直(回/月)	無	
病院の特徴	当法人は明治27年に開業した旧日野医院の伝統を受継いだ一世紀に渡る歴史があります。病院では内科、外科、産婦人科を中心とした、地域における総合診療医的な役割を担っています。平成19年からは、介護老人保健施設、通所介護施設、通所リハビリテーション施設、小規模多機能型居宅介護施設を順次開設し、医療・介護が一体となった地域支援を行っています。			
研修症例の特徴	一般内科、内視鏡検査や治療、肝疾患外来など消化器診療。 外傷の治療や小外科手術などのプライマリケア。 妊娠初期の産科外来、婦人科診療、乳児健診、老年期医療など、総合診療医として幅広い症例が経験できる。			
研修内容アピール	・内科、外科、産婦人科外来診療や、大学よりの専門医による呼吸器科、循環器科、小児科、耳鼻咽喉科などの外来診療を通して幅広い患者層の問診、身体所見、検査、画像診断を数多く経験できる。 ・介護施設やグループホームの往診を通して、地域の高齢者と医療者との関わり方を体験できる。			
診療科名 ※選択科は赤字	<b>内科</b> 、外科、産婦人科、呼吸器科、 <b>消化器科</b> 、循環器科、小児科、整形外科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、老年内科、 <b>地域医療</b>			
事務担当	高森 雄介			
住所	〒879-5103 由布市湯布院町川南280番地			
TEL	0977-84-2181	FAX	0977-84-2466	
E-Mail	info@fukujuukai.net	URL	http://www.fukujuukai.net	

<b>No.23</b>	<b>医療法人藤本育成会 大分こども病院</b>			
<b>研修実施責任者名</b>	桑門 克治			
<b>病床数</b>	40	<b>1日平均外来患者数</b>	225	
<b>医師数</b>	15	<b>1日平均入院患者数</b>	24	
<b>研修医室</b>	有	<b>当直(回/月)</b>	4	
<b>病院の特徴</b>	小児専門の救急病院として24時間対応で365日、医療を提供している。小児救急医療に活動の中心を置いているが、予防接種や乳児健診にも力を入れている。また、循環器、神経、腎臓、内分泌、小児心身、泌尿器、の専門外来を設け、外部からそれぞれのサブスペシャリストを招聘している。この他に皮膚科・小児外科・アレルギー科・精神科(児童精神)を常設しており常勤の専門医が担当している。小児のあらゆる発達段階における成長や心の悩み、親の育児相談に臨床心理士・保育士・栄養士・看護師が応じている。ベッド数は40床で、小児入院医療管理料2、療養環境加算、検体検査管理加算(1)などを取得している。			
<b>研修症例の特徴</b>	小児のCommon diseaseのほか、喘息・鉄欠乏性貧血・川崎病・腸重積・アレルギー性紫斑病・RSV感染症・蜂窩織炎・高張性脱水・マイコプラズマ感染症・ネフローゼ症候群など多岐にわたる。			
<b>研修内容アピール</b>	小児科常勤医の専門分野は小児感染症・予防接種・小児心身症・小児神経・化学療法・小児腎臓・循環器・内分泌・初期救急と多分野をカバーしているので、充実した指導の下、小児の1次・2次医療を通して幅広く多くの症例を経験できる。毎朝行われるモーニングカンファレンスでは研修医も受け持ち患者についてのプレゼンテーションを行い、外来・病棟各部門の症例検討で小児のさまざまな疾患に対するディスカッションを体験できる。			
<b>診療科名</b> ※選択科は赤字	小児科・小児外科・皮膚科・アレルギー科・精神科			
<b>事務担当</b>	三浦 和也(法人本部 事務局長)			
<b>住所</b>	〒870-0943 大分市大字片島83番地7			
<b>TEL</b>	097-567-0050	<b>FAX</b>	097-568-2970	
<b>E-Mail</b>	miura@oita-kodomo.jp	<b>URL</b>	http://www.oita-kodomo.jp/	

<b>No.24</b>	<b>別府発達医療センター</b>			
<b>研修実施責任者名</b>	福永 拙			
<b>病床数</b>	120	<b>1日平均外来患者数</b>	56.5	
<b>医師数</b>	5	<b>1日平均入院患者数</b>	98.5	
<b>研修医室</b>	無	<b>当直(回/月)</b>	2~4	
<b>病院の特徴</b>	先天性もしくは後天的に障害を持ち発達の遅れを持った小児の診断・治療を専門に行っております。障害児の状況や、年齢の各段階に応じて必要と思われる治療・リハを行えるようスタッフ・設備の充実を図っています。 整形外科では、内反足やベルテス病、先天性股関節脱臼など小児整形外科特有の疾患の診断・治療を行っています。また、常勤麻酔科医の全身管理下で、脳性まひ児の四肢疾患や上記疾患の手術を中心に創外固定器による四肢の変形矯正・延長も行っています。 リハビリテーション科では理学、作業、言語聴覚の各療法士や臨床心理士による障害児の全体評価やリハ内容の検討を行いながら計画に基づき実施しています。 小児科では、重症心身障害児だけでなく、自閉症やADHD等の発達障害に対して診断治療を行っています。 平成24年度より障害者総合支援法に基づく療養介護事業所、医療型障害児入所施設の指定を受け医療と福祉の両立を図っています。			
<b>研修症例の特徴</b>	整形外科疾患では小児股関節疾患、神経筋疾患に伴う足部変形や、骨系統疾患、脊柱変形疾患などを幼児期から成長期まで長期にわたり手術治療やリハビリテーション、ボトックス治療及び生活指導を行っています。 小児科疾患では、各病院のNICUを退院された児童の入所のみならず、在宅診療や在宅リハビリテーションも行っています。また、近年、全国的に増加している運動発達遅滞を伴う発達障害児なども多数受診され、感覚面学習面の発達経過とともに長期経過の検討が必要です。			
<b>研修内容アピール</b>	当センターは昭和32年に創設された療育施設として肢体不自由児だけでなく、重症心身障害児や発達障害児の療育と支援目的に運営しています。平成24年7月に各病棟の改築、改修を終え、施設・整備を一新しました。 新専門医制度下において、九州では数少ない小児リハビリテーション認定研修施設です。ぜひ、子どもの発達を、そして人間の成長・発達を身体、運動、感覚及び社会性の面から医学的に診てみませんか。			
<b>診療科名</b> ※選択科は赤字	整形外科、麻酔科、リハビリテーション科、小児科、耳鼻咽喉科			
<b>事務担当</b>	大津留 倫子			
<b>住所</b>	〒874-0838 別府市大字鶴見4075番地の1			
<b>TEL</b>	0977-22-4185	<b>FAX</b>	0977-26-4171	
<b>E-Mail</b>	bephic@ctb.ne.jp	<b>URL</b>	http://beppu-hattatsu.jp/	

No.25	健和会大手町病院			
研修実施責任者名	研修委員長 三宅 亮			
病床数	499	1日平均外来患者数	318.7(救急含む)	
医師数	60(常勤)	1日平均入院患者数	19.7	
研修医室	有	当直(回/月)	6回/月	
病院の特徴	健和会は大手町病院499床をはじめ、関連3病院(744床)、医科診療所2カ所、歯科診療所1カ所などを擁して、地域の要求に応える、総合的活動を展開している。そのセンター病院でもある大手町病院は、年間6,000件を超える救急車を受け入れるなど、北九州市民の急性期の医療要求に積極的に対応し、法人内の事業所や登録医師の方々をはじめ様々な事業所との連携をもちながら、努力を続けている。			
研修症例の特徴	●形成外科1日平均外来患者数17.3人、外来新患者数107人、入院患者数181人(いずれも2017年度実績) ●手術・処置件数/①皮膚・軟部組織損傷 顔面・四肢中心に年間200件以上(救急外来での処置含む)、②腫瘍 良性・悪性含めて年間50~60例前後、③顔面骨折 手術症例年間20例前後、④その他の領域 皮膚科・外科等他科手術の再建、⑤慢性創傷 褥瘡患者年間約300~400件、糖尿病・末梢動脈病変に伴う潰瘍			
研修内容アピール	●当院が大分大学形成外科の教育関連施設であることから、大学で経験することの少ない症例について研修を行うことを基本方針とする。 ●病棟診療/5名程度の患者を指導医とともに受け持ち、一般的な入院患者管理および形成外科領域の周術期管理を習得する。また、週1回の総回診において患者情報の提示方法を習得する。入院手術において、基本的な手術手技(縫合・小範囲の植皮等)を指導医の監督下に実施する。 ●外来診療/週1単位を指導医の監督下に受け持ち、医療面接の方法および外来診療一般について習得する。また、週1回の褥瘡回診を指導医・皮膚科専門医・認定看護師と行い、褥瘡診療(予防的ケア、保存的治療および外科的治療)について習得する。外来手術も、基本的な手術手技(小腫瘍切除等)を指導医の監督下に実施する。 ●救急医療/救急外来担当医からのコンサルテーションを指導医とともに受け、必要な検査・処置決定について学ぶ。さらに、自らが情報の発信源となり指導医、他科医師に適切な情報の提示が行えるようになる。また、急性創傷の初期治療を指導医の指示・監督下に実施する。			
診療科名 ※選択科は赤字	内科・小児科・精神科・神経内科・外科・心臓血管外科・整形外科・ <b>形成外科</b> ・脳神経外科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・皮膚科・泌尿器科・放射線科・麻酔科・リハビリテーション科・病理診断科・救急科・感染症内科			
事務担当	医師団事務部臨床研修課			
住所	〒803-8543 北九州市小倉北区大手町15番1号			
TEL	093-592-3325	FAX	093-592-5231	
E-Mail	kensyu@kenwakai.gr.jp	URL	http://www.kenwakai.gr.jp/resident/	

No.26	熊本赤十字病院			
研修実施責任者名	鈴木 龍介 心臓血管外科部長			
病床数	490	1日平均外来患者数	1228.9	
医師数	213	1日平均入院患者数	443.8	
研修医室	有	当直(回/月)	単独での当直業務は行わない	
病院の特徴	1次~3次救急を受け入れる24時間体制の救命救急センターを併設し、「断らない救急」をモットーにこどもからお年寄りまで、軽症者から重症者まで、年間6万人の救急患者を受け入れている。病院内には2カ所の緊急用ヘリポート、大型特殊救護車両を整備し、県の基幹災害医療センターとして中心的な役割を果たしている。また、ドクターヘリの基地病院として、より迅速な初期診療にも対応している。さらに、全国で5カ所目、西日本では初となる小児救命救急センターの指定を受け、PICUを併設して県内外の小児重篤疾患にも対応できる体制を整えている。また、国際医療救援部を設置し、医師、看護師をはじめ多くのスタッフを世界各国へ派遣するなど、積極的な活動を展開している。			
研修症例の特徴	臨床医師として、基本的な知識・技能を修得し、患者背景を理解しそれに対応できる医師を養成する。心臓血管外科領域を学ぶことで集中治療による全身管理を研修し、医師としての基礎を作ることを目的とする。			
研修内容アピール	ドクターカー、ドクターヘリを配備しており、救急症例が多いことが特徴で、急性冠症候群や急性大動脈解離など、一刻を争う緊急手術を要する症例を多く経験できる。 また、各科の垣根が低く、連携が密であることから、合同手術、合同カンファレンスの機会も充実している。			
診療科名 ※選択科は赤字	内科、血液・腫瘍内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、乳腺内分泌外科、整形外科、脳神経外科、 <b>心臓血管外科</b> 、小児外科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、放射線治療科、麻酔科、救急科、歯科、歯科口腔外科、精神腫瘍科、病理診断科			
事務担当	前田 亜里沙			
住所	〒861-8520 熊本県熊本市東区長嶺南二丁目1番1号			
TEL	096-384-2111	FAX	096-384-8862	
E-Mail	rinsyokensyu@kumamoto-med.jrc.or.jp	URL	http://www.kumamoto-med.jrc.or.jp/	

No.27	千代田病院			
研修実施責任者名	日下 淳也			
病床数	198	1日平均外来患者数	244	
医師数	22	1日平均入院患者数	141	
研修医室	無	当直(回/月)	0	
病院の特徴	救急認定病院・災害拠点病院・協力型臨床研修指定病院として、地域医療向上に努め地域に密着している地域中核病院です。また、平成24年7月に新病院移転し、最新医療機器とスタッフを揃え、運営しております。			
研修症例の特徴	症例の術前回診、術中管理、術後回診を行う。全身麻酔症例を中心に研修し、気管挿管による気道確保、各種モニタの評価が行えるようにする。また脊髄くも膜下麻酔、腰部硬膜外麻酔などの局所麻酔法、ラリンジアルマスクによる気道確保が行えるようにする。			
研修内容アピール	将来どの専門に携わるにしても、基本的な全身管理を適切に行うことができるように、全身麻酔を中心とした周術期管理を研修致します。少なくとも1名の上級医がマンツーマンで研修医の指導にあたります。研修医には知識、技術の習得に積極的に努力していただきます。			
診療科名 ※選択科は赤字	内科、糖尿病、内分泌・代謝内科、呼吸器内科、心臓血管外科、消化器外科、外科、呼吸器外科、整形外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、 <b>麻酔科</b> 、皮膚科、放射線科、こども科、リウマチ科、リハビリテーション科、神経内科、腎臓内科、人工透析			
事務担当	工藤 五子			
住所	〒883-0064 宮崎県日向市日知屋古田町88番地			
TEL	0982-52-7111	FAX	0982-53-6188	
E-Mail	kudoui@chiyoda-hp.jp	URL	<a href="http://www.chiyoda-hp.jp/">http://www.chiyoda-hp.jp/</a>	

No.28	医療法人コラソン 岩永レディースクリニック			
研修実施責任者名	理事長・院長 岩永 成晃			
病床数	19	1日平均外来患者数	54	
医師数	1	1日平均入院患者数	5.5	
研修医室	有	当直(回/月)	無	
病院の特徴	昭和28年に別府市で産婦人科診療所を開設して以来、現在まで50年余にわたり、地域に根ざした「心のこもった安全な医療」を提供してきた。女性の健康のためのキーステーションとして、思春期から更年期以降の方まで全てが訪れやすい、女性のために特化した医療施設を目指している。また、コミュニティーホール、リラクゼーションスペース、託児施設、カフェスポットを併設し、子育て支援・お産後のお母さんの心と体のリフレッシュを目指し、インターロックダンス・ベビーマッサージ、食を楽しむ会など各種サークルを開催している。			
研修症例の特徴	周産期医療においては、別府市を中心として速水杵築地区、湯布院地区の一次周産期施設として妊娠、出産、子育てに関っている。妊娠、出産については、その安全性と快適さの確保に力を注ぎ、施設・設備・スタッフの充実に力を入れている。生殖医療面では、不妊症基本検査から人工授精(AIH)までを実施しており、不妊症治療の一次施設としての積極的な医療を行っている。			
研修内容アピール	妊娠中からの超音波検診による母児管理、分娩時における分娩監視装置システムの充実、院内感染及び医療安全対策にも最新の対策を取り入れており、周産期医療における一次施設としての能力は県内でもトップレベルと自負している。また、地域における子育て支援の観点から、妊娠中から母子育成のサポートに加え出産後の子育てにも力を入れている。			
診療科名 ※選択科は赤字	<b>産婦人科</b>			
事務担当	総務 安藤由志美			
住所	〒874-0932 大分県別府市野口中町4番23号			
TEL	0977-23-4371	FAX	0977-26-3578	
E-Mail	front@iwanaga-ladiesclinic.gr.jp	URL	<a href="http://www.iwanaga-ladiesclinic.gr.jp">http://www.iwanaga-ladiesclinic.gr.jp</a>	

No.29	医療法人 大川産婦人科病院(末広本院／高砂分院)			
研修実施責任者名	理事長 大川欣栄 院長 森田哲夫			
病床数	40	1日平均外来患者数	170	
医師数	6	1日平均入院患者数	29	
研修医室	兼用	当直(回/月)	無	
病院の特徴	産婦人科・小児科を標榜し基準看護7:1で40床の病院です。年間分娩件数(帝王切開を含む)約900件で、21年より腹腔鏡手術も行っています。又、高砂分院では産婦人科と小児科を併設し、婦人科では不妊治療外来(体外受精)も行っています。			
研修症例の特徴	年間900件ほどの分娩数があるため確実に産科外来、胎児超音波と分娩の研修をおこなうことができます。また、顕微授精、胚凍結融解移植を含めた高度生殖補助医療、婦人科外来、乳癌検診の研修もいたします。帝王切開および腹腔鏡手術には指導医の指導の下参加していただけます。			
研修内容アピール	妊娠・分娩管理、一般婦人科疾患、不妊治療、乳癌検診、手術(帝王切開、腹腔鏡手術)など、豊富な分野・症例の研修を提供できます。医師は全員産婦人科専門医であり、各々が各自の分野に精通しており、高度な指導をおこなうことができます。			
診療科名 ※選択科は赤字	産婦人科、不妊症、小児科			
事務担当	塩月 達也			
住所	〒870-0027 大分市末広町2-4-16			
TEL	097-534-6333	FAX	097-533-1505	
E-Mail	shiotsuki@okawa-hosp.com	URL	www.okawa-hosp.com	

No.30	医療法人輝心会 大分循環器病院			
研修実施責任者名	院長 秋満 忠郁			
病床数	99	1日平均外来患者数	135	
医師数	12	1日平均入院患者数	76	
研修医室	無	当直(回/月)	4~5/月	
病院の特徴	平成27年5月に新築移転致しました。循環器科をメインとしながらも、消化器科の肝センターとしての機能充実、整形外科の手術件数も増加しており、主に県内の医療機関との連携の下、診療を行っております。移転後に、心臓血管外科・腎臓内科・麻酔科・泌尿器科を新設しました。また、透析室も増床し各科が有機的に連携し、診療を行っております。			
研修症例の特徴	循環器科では平成7年の開設当時より心臓カテーテル検査が始められ、現在年間約1000例のカテーテル検査を施行。また、虚血性心臓病や不整脈に対しては薬物療法に加え心臓カテーテル治療も施行。平成16年より心臓以外の抹消血管疾患に対しても積極的にカテーテル手術を施行。また、ペースメーカー移植術も施行しています。消化器科では肝細胞癌に対してRFA・AAGを多数施行し、良好な治療成績を得ています。また、慢性C型肝炎に対するインターフェロン治療、肝硬変(食道静脈瘤、腹水)の治療も行っています。			
研修内容アピール	①病棟研修・回診…入院受持患者の診療、カルテ記載、検査及び手技、退院サマリー作成 ②外来研修(週1~2回:午前9:00~午後12:30)…新患の医療面接、外来処置研修 ③症例検討会・カンファレンス…それぞれ週に1回。専門グループ別のもも適宜行われる ④学会・研究会…興味ある症例の担当となった場合、指導医と相談の上、学術集会や研究会で報告する			
診療科名 ※選択科は赤字	循環器科、消化器科、内科、腎臓内科、整形外科、リウマチ科、リハビリテーション科、心臓血管外科、麻酔科、泌尿器科、地域医療			
事務担当	事務長 神田 佳彦			
住所	〒870-0837 大分市太平町4組			
TEL	097-544-8800	FAX	097-544-5553	
E-Mail	jimu@oita-junkanki.jp	URL	http://www.oita-junkanki.jp/	

<b>No.31</b>	<b>医療法人恵友会 杵築中央病院</b>			
<b>研修実施責任者名</b>	副病院長 中城 正夫			
<b>病床数</b>	60	<b>1日平均外来患者数</b>	110	
<b>医師数</b>	4	<b>1日平均入院患者数</b>	58	
<b>研修医室</b>	有(医局)	<b>当直(回/月)</b>	2	
<b>病院の特徴</b>	当院は、大分県東部に位置する江戸情緒を残す城下町「杵築」にあり、旧市内唯一の一般病院です。そのため救急患者の受け入れをはじめ、がん化学療法や緩和医療など地域医療の中核病院として、高機能病院と連携し総合診療に努めております。			
<b>研修症例の特徴</b>	外来診療一般(特にcommon diseaseの初診診療)、病棟管理・褥瘡処置及び管理・感染対策 レントゲン(胸部・腹部・四肢末梢)・CTなど画像診断・読影 CVカテ挿入、気管挿管、レスピレーター管理、臓器予備能評価などインテンシブケア 縫合、創傷処置、上・下部消化管内視鏡検査、気管支鏡検査、腹部超音波検査など検査・処置 等			
<b>研修内容アピール</b>	指導医は、日本外科学会指導医・認定医、外科専門医、日本呼吸器外科学会指導医、呼吸器外科専門医 日本胸部外科学会指導医・認定医、日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡指導医・専門医・認定医、日本臨床腫瘍学会暫定指導医、日本がん治療認定医機構暫定教育医・認定医、肺がんCT検診認定機構認定医、麻酔科標榜医、インフェクション・コントロール・ドクター制度協議会認定医であり、丁寧な指導を行っていきます。			
<b>診療科名</b> ※選択科は赤字	外科・内科・呼吸器科・消化器科・循環器科・アレルギー科・泌尿器科・リハビリテーション科・人工透析内科・放射線科・地域医療			
<b>事務担当</b>	事務局長 安東脩三郎			
<b>住所</b>	〒873-0001 大分県杵築市大字杵築120番地			
<b>TEL</b>	0978-62-3080	<b>FAX</b>	0978-63-4335	
<b>E-Mail</b>	s.andoh@kc-hospital.or.jp	<b>URL</b>	http://www.kc-hospital.or.jp/ (公式HP)	

<b>No.32</b>	<b>セント・ルカ産婦人科</b>			
<b>研修実施責任者名</b>	宇津宮 隆史(院長)			
<b>病床数</b>	13	<b>1日平均外来患者数</b>	87	
<b>医師数</b>	3	<b>1日平均入院患者数</b>	1.99	
<b>研修医室</b>	有	<b>当直(回/月)</b>	0	
<b>病院の特徴</b>	大分駅南口より徒歩2分。不妊治療が専門。その他、婦人科・更年期外来・思春期外来を行っている。			
<b>研修症例の特徴</b>	不妊治療を専門に行っている。高度生殖医療(体外受精・顕微授精)の現場が見学出来ます！ 腹腔鏡手術も行っており、腹腔鏡下子宮筋腫核出術等の技術を学ぶ事が出来ます。			
<b>研修内容アピール</b>	指導医(院長)が1対1で教えます。			
<b>診療科名</b> ※選択科は赤字	産婦人科			
<b>事務担当</b>	越名 久美			
<b>住所</b>	〒870-0823 大分市東大道1丁目4番5号			
<b>TEL</b>	097-547-1234	<b>FAX</b>	097-547-1221	
<b>E-Mail</b>	st-luke@oct-net.ne.jp	<b>URL</b>		

<b>No.33</b>	<b>堀永産科婦人科医院</b>			
<b>研修実施責任者名</b>	堀永 孚郎			
<b>病床数</b>	17	<b>1日平均外来患者数</b>	28.7	
<b>医師数</b>	3	<b>1日平均入院患者数</b>	10.6	
<b>研修医室</b>	有	<b>当直(回/月)</b>	2	
<b>病院の特徴</b>	一次医療施設として、正常分娩を中心とした妊娠・分娩・産褥の管理を行っている。 その為、主に正常産は助産師による管理を行っており医師との連携、協力体制で安全な医療を行うことを基本としている。			
<b>研修症例の特徴</b>	妊娠・出産・産褥の経過、基本的な正常産を学ぶ。妊婦健診、妊婦指導、分娩における会陰切開、縫合や緊急帝王切開の症例に参加し必要最小限の手技を取得する。			
<b>研修内容アピール</b>	女性が妊娠出産によって著しく母親に変化していく姿を学ぶ。			
<b>診療科名</b> ※選択科は赤字	産婦人科			
<b>事務担当</b>				
<b>住所</b>	〒870-0021 大分市府内町2丁目5-13			
<b>TEL</b>	097-532-5289	<b>FAX</b>	097-533-1809	
<b>E-Mail</b>	horinaga@horinaga-sanfujinka.jp	<b>URL</b>	<a href="http://horinaga.net/">http://horinaga.net/</a>	

<b>No.34</b>	<b>みぞぐち産婦人科医院</b>			
<b>研修実施責任者名</b>	溝口 洋一			
<b>病床数</b>	16	<b>1日平均外来患者数</b>	30	
<b>医師数</b>	2	<b>1日平均入院患者数</b>	7	
<b>研修医室</b>	有	<b>当直(回/月)</b>	3	
<b>病院の特徴</b>	-			
<b>研修症例の特徴</b>	-			
<b>研修内容アピール</b>	-			
<b>診療科名</b> ※選択科は赤字	産婦人科			
<b>事務担当</b>	足立 けい子			
<b>住所</b>	〒870-0952 大分市下郡北3丁目24番21号			
<b>TEL</b>	097-569-7770	<b>FAX</b>	097-568-1706	
<b>E-Mail</b>	infomzg@fat.coara.or.jp	<b>URL</b>	<a href="http://mizoguchi-c.com/">http://mizoguchi-c.com/</a>	

<b>No.35</b>	<b>国家公務員共済組合連合会 新小倉病院</b>			
<b>研修実施責任者名</b>	診療部長 塚本 浩			
<b>病床数</b>	300	<b>1日平均外来患者数</b>	309	
<b>医師数</b>	35	<b>1日平均入院患者数</b>	220	
<b>研修医室</b>	無	<b>当直(回/月)</b>	1	
<b>病院の特徴</b>	医療の質の向上に努め、地域から信頼され必要とされる病院を目指し、専門的治療に取り組んでいる。諸種の先進医療機器を豊富に揃え、高度医療を提供している。地域に密着した救急医療を目指し、病病、病診連携によるご紹介は24時間体制で対応し、救急医療体制の充実を図っている。			
<b>研修症例の特徴</b>	当院の泌尿器科では、腎移植、透析医療を除く全ての泌尿器科領域について、広く診療範囲を持ち、内科的・外科的な治療を担当していることに特徴がある。			
<b>研修内容アピール</b>	日本泌尿器科学会泌尿器科専門医・指導医である泌尿器科部長の監督、指導の下臨床研修を行い、指導医である泌尿器科部長は、診療場面で責任を担う。また、研修医は全ての患者(主に入院)を指導医と共に主治医として受け持ち、患者の検査、治療方針について指導医と相談し、計画実行していく。			
<b>診療科名</b> ※選択科は赤字	内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器・内視鏡内科、糖尿病・内分泌内科、肝臓内科、血液内科、感染症内科、脳神経内科、リウマチ科、外科、消化器外科、肝臓外科、呼吸器外科、整形外科、皮膚科、眼科、婦人科、 <b>泌尿器科</b> 、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科、リハビリテーション科			
<b>事務担当</b>	庶務課 三島 穰史			
<b>住所</b>	〒803-8505 北九州市小倉北区金田1丁目3-1			
<b>TEL</b>	093-571-1031 内線:250	<b>FAX</b>	093-591-0553	
<b>E-Mail</b>	kk-r-shinkokura@shin-kokura.gr.jp	<b>URL</b>	http://www.shin-kokura.gr.jp	

<b>No.36</b>	<b>中津脳神経外科病院</b>			
<b>研修実施責任者名</b>	副院長 辛島 篤志			
<b>病床数</b>	55	<b>1日平均外来患者数</b>	57.6	
<b>医師数</b>	常勤4名	<b>1日平均入院患者数</b>	2.1	
<b>研修医室</b>	医局内に専用机有	<b>当直(回/月)</b>	1	
<b>病院の特徴</b>	中津市郊外に位置する55床の救急指定病院である。救急車搬入は月に約60台を超え、大分県北部の救急診療を担っています。最新鋭DSAをはじめマルチスライスCT(16列)、MRIを備え、脳疾患に備えています。			
<b>研修症例の特徴</b>	当地域の2次救急病院として脳卒中の患者及び外傷患者を主に受け入れをしていますので、急性期の脳卒中の患者等が症例の対象となります。			
<b>研修内容アピール</b>	研修医は指導医と共に主治医グループを形成し、主治医の1人として患者さんを受け持ち、検査・治療方針について指導医と相談し、計画実行していきます。期間内に10人前後の入院患者さん(うち新患さん5人前後)を受け持つ予定です。研修医の研修到達を毎週チェックし、必要に応じてスケジュールを調節し到達目標達成の援助を行う。研修医は、本プログラムに示された到達目標につき、自己評価及び必須のレポートを提出する。指導医は研修医の自己評価、レポートを確認し、評価を行います。			
<b>診療科名</b> ※選択科は赤字	<b>脳神経外科</b>			
<b>事務担当</b>	中 秀樹			
<b>住所</b>	〒879-0112 大分県中津市福島1055番地			
<b>TEL</b>	0979-32-2555	<b>FAX</b>	0979-32-2560	
<b>E-Mail</b>	nougeka@ceres.ocn.ne.jp	<b>URL</b>	http://nakatsunoushinkeigeka.jp/	

<b>No.37</b>	<b>河野脳神経外科病院</b>			
<b>研修実施責任者名</b>	河野 義久			
<b>病床数</b>	40	<b>1日平均外来患者数</b>	110	
<b>医師数</b>	4	<b>1日平均入院患者数</b>	40	
<b>研修医室</b>	無	<b>当直(回/月)</b>	2	
<b>病院の特徴</b>	当院は大分市東部地区に位置する40床の二次救急指定病院で、外来患者数として一日平均110名の方にお越し頂き、また、年間1,000名の方が入院され、年間手術件数も130を超える症例実績となっております。3TMR機器を増設し、MR2台・CT1台(64例)・DSA1台の機器を備え、脳卒中を中心に様々な脳疾患に対応出来る様にしており、現在は血管内治療にも力を注いでいます。そしてまた、3TMRの臨床応用を研究テーマに、大学と共同でfunctional MRI等の研究をすすめています。			
<b>研修症例の特徴</b>	年間1,000例の入院患者の急性期治療を行っています。そのうち6割が脳卒中急性期となっております。くも膜下出血の治療方針はコイル塞栓術を主体として、開頭クリッピング術も行っています。積極的にMRIを使って「機能予後評価」を行っております。			
<b>研修内容アピール</b>	期間内に8名前後の入院患者(うち新患3名前後)を受け持ち、指導医と治療方針等についての相談を行い、計画実行していく研修内容とし、管理運営および研修指導全体の総括としての責任は指導医(院長)が負う体制と致します。当院では積極的に救急患者を受け入れており、救急搬送も多く(年間1,000件)、救急疾患の症例も数多く経験でき、研修医にとっても重要な研修の場であると考えております。1年目は指導医の診察、治療の見学及び診察の補助業務が中心ですが、2年目からは、症例によっては初診の診察も指導医とともに手術も経験して頂きます。			
<b>診療科名</b> ※選択科は赤字	脳神経外科、リハビリテーション科			
<b>事務担当</b>	飯倉 吉郎			
<b>住所</b>	〒870-0127 大分市大字森町字無田々通250番7			
<b>TEL</b>	097-521-2000	<b>FAX</b>	097-521-0420	
<b>E-Mail</b>	info@kawano-nshp.or.jp	<b>URL</b>	http://www.kawano-nshp.or.jp/	

<b>No.38</b>	<b>医療法人中膺会 宇佐胃腸病院</b>			
<b>研修実施責任者名</b>	中野 眼一			
<b>病床数</b>	40	<b>1日平均外来患者数</b>	66	
<b>医師数</b>	3.37	<b>1日平均入院患者数</b>	17	
<b>研修医室</b>	有	<b>当直(回/月)</b>	4	
<b>病院の特徴</b>	当施設は、平成2年に開業、地域における急性期病院として一般病床40床を有し、消化器病専門病院として疾病の早期発見と診断・治療を行っています。また、生活習慣病予防に取り組み、高血圧、糖尿病、肝臓病は大分大学附属病院の先生と連携し高度の最新医療を提供しています。平成30年4月1日から医療法人新生会高田中央病院と連携した地域医療に取り組んでいます。			
<b>研修症例の特徴</b>	地域医療の特徴としてあらゆる疾患に遭遇するが、消化器専門病院として標榜しているため、胃腸、肛門疾患を多数経験できる。 大分大学医師による専門外来(肝・糖尿病・循環器)を実施している。			
<b>研修内容アピール</b>	消化器内視鏡検査が多い。胃内視鏡1500例、大腸内視鏡700~800例(年間)が施行される。 大腸肛門疾患の手術数が多い。 訪問診療を実施しています。			
<b>診療科名</b> ※選択科は赤字	内科・外科・消化器内科・外科、肛門外科、地域医療			
<b>事務担当</b>	都甲公生			
<b>住所</b>	〒872-0032 宇佐市大字江須賀4092-1			
<b>TEL</b>	0978-38-1618	<b>FAX</b>	0978-38-5805	
<b>E-Mail</b>	gen1icho@joy.ocn.ne.jp	<b>URL</b>	http://usaicho-hosp.jp	

No.39	医療法人 大分厚生会 川崎内科			
研修実施責任者名	川崎 紀則			
病床数	19	1日平均外来患者数	32	
医師数	2	1日平均入院患者数	18	
研修医室	1	当直(回/月)		
病院の特徴	介護老人保健施設ケアポート川崎・グループホーム(Ⅰ)(Ⅱ) 介護相談センター川崎を併設している。			
研修症例の特徴	-			
研修内容アピール	地域医療について色々な角度から研修できる。(外来・往診・健康診断など)			
診療科名 ※選択科は赤字	内科、呼吸器科、消化器科(胃腸科)、循環器科、 <b>地域医療</b>			
事務担当	川崎 剛			
住所	〒879-5511 大分県由布市挾間町古野263番地1			
TEL	097-583-5211	FAX	097-583-5297	
E-Mail	無し	URL	無し	

No.40	社会医療法人 玄真堂 川島整形外科病院・かわしまクリニック			
研修実施責任者名	川島 真之			
病床数	93	1日平均外来患者数	584	
医師数	11	1日平均入院患者数	87	
研修医室	有	当直(回/月)		
病院の特徴	当院は幕末から明治にかけて蘭学や西洋医学が盛んであり、福沢諭吉や前野良沢、田原淳とゆかりの深い中津市に立地しています。診療圏は、大分県北を中心に隣接する福岡県にも広く跨っており、病院・クリニック・老健施設・通所リハビリ・訪問看護リハビリステーション等の施設にて、整形外科疾患を中心に急性期から慢性期、在宅に至るまでの医療・介護を行っています。			
研修症例の特徴	クリニックにて多くの外来患者の診療にあたり、病院は2次救急病院でもあるため、外傷から変性疾患に至るまで、幅広い整形外科疾患を経験することができます。また、高気圧酸素治療装置(多人数用大型タンク2基)を有し、骨髄炎等の骨関節感染症、ガス壊疽や壊疽性筋膜炎、潜水病等の救急医療にも力を入れており、希少な症例を経験することもできます。			
研修内容アピール	年間手術件数は1500件以上であり、多数の症例を経験することができます。また、地域に密着した病院であり、術後も患者さんとの触れ合いを通じた経過観察を行うことができます。実習中に高圧タンクを体験して頂くことも可能です。			
診療科名 ※選択科は赤字	整形外科、リハビリ科、リウマチ科、脳神経外科、麻酔科、 <b>地域医療</b>			
事務担当	事務局 吉田 公博			
住所	〒871-0012 大分県中津市宮夫17番地			
TEL	0979-24-0464	FAX	0979-24-6258	
E-Mail	info@kawashimahp.jp	URL	http://kawashimahp.jp	

No.41	特定医療法人 社団春日会 黒木記念病院			
研修実施責任者名	甲斐 哲司			
病床数	226	1日平均外来患者数	155.5	
医師数	15	1日平均入院患者数	224	
研修医室	有	当直(回/月)	無	
病院の特徴	急性期・回復期・維持期を行うケアミックス型の複合施設で、退院後の在宅医療を支援する各施設も充実させており、包括的な全人的医療・看護・介護・予防サービスの提供を行っています。			
研修症例の特徴	高齢者を中心とした骨・関節疾患及び回復期リハビリテーションを必要とした中枢神経疾患症例が多いのが特徴です。			
研修内容アピール	①整形外科を中心とした手術見学 ②リハビリテーションカンファレンス及び回診 ③内科及び外科の見学 ④画像診断・内視鏡治療の見学 ⑤訪問診療、在宅サービス部門の見学 ⑥リハビリテーション訓練場面の見学 など幅広く行ってまいります。			
診療科名 ※選択科は赤字	整形外科、外科、内科、リウマチ科、リハビリテーション科、麻酔科、消化器内科、放射線科、呼吸器内科、地域医療			
事務担当	小川 英彦			
住所	〒874-0031 別府市照波園町14-28			
TEL	0977-67-1211	FAX	0977-66-6673	
E-Mail	info@kuroki-hp.or.jp	URL	http://www.kuroki-hp.or.jp	

No.42	医療法人明徳会 佐藤第一病院			
研修実施責任者名	中原 成浩			
病床数	130	1日平均外来患者数	238	
医師数	14	1日平均入院患者数	114	
研修医室	有	当直(回/月)		
病院の特徴	内科を基盤とし、地域で唯一の脳神経外科を設け、外科など総合的に対応可能な診療科を有する病院です。病床数は130床で、一般病床82床・地域包括ケア病床8床・回復期リハビリテーション病床40床を持っています。平成18年3月、国税庁より特定医療法人に承認されました。医療設備としては平成15年に完成した新病棟、リハビリ室や64列CT、1.5TMRI、各種内視鏡や、脳神経外科手術用顕微鏡などがあります。地域で年間900台以上の救急車受入れを行っており、救急医療から在宅へのリハビリテーションまで一貫した医療を提供しています。さらに、平成26年に完成した外来棟にて充実した医療サービスを提供しています。日本医療機能評価機構から平成29年2月に3rdG:Ver.1.1を認定されました。			
研修症例の特徴	当院では脳神経外科、内科、消化器内科だけでなく、外科、放射線科の常勤専門医がいますので、早期の適切な診断、処置が可能であり、3次救急施設との連携や、地域の診療所、介護施設との連携を学ぶことができます。急性期の救急医療から、病病連携、病診連携、中間期医療のリハビリテーションから在宅医療まで、地域医療の分野で幅広い研修を行うことができます。			
研修内容アピール	同上			
診療科名 ※選択科は赤字	内科・循環器内科・消化器内科・神経内科・心療内科・外科・消化器外科・肛門外科・整形外科・脳神経外科・リウマチ科・泌尿器科・リハビリテーション科・放射線科・肝臓内科・麻酔科・地域医療			
事務担当	事務部長 瀧野 和宏			
住所	〒879-0454 大分県宇佐市大字法鏡寺77-1			
TEL	0978-32-2110	FAX	0978-34-9321	
E-Mail	meitokukai@sato-d1.com	URL	http://www.sato-d1.com/	

<b>No.43</b>	<b>塚川第一病院</b>			
<b>研修実施責任者名</b>	塚川 博志			
<b>病床数</b>	60	<b>1日平均外来患者数</b>	74.9	
<b>医師数</b>	4	<b>1日平均入院患者数</b>	55.6	
<b>研修医室</b>	無	<b>当直(回/月)</b>		
<b>病院の特徴</b>	当院は昭和41年6月に開院。大分市中心部にあり、人工透析ベッド44床を有し、一般病床25床・医療療養病床35床の慢性期病院です。医療・介護を総合的に担う地域に根差した施設を目指し、平成17年に病院を新築。現在、通所リハビリテーション、グループホーム等介護関連7事業所を有しています。また総合的に診療できるよう16列CT、内視鏡、超音波装置等の医療機器を備えています。			
<b>研修症例の特徴</b>	総合的な診療に対応するため複数の科を有しているので様々な症例があります。			
<b>研修内容アピール</b>	当院と他医療機関との連携や、当院の訪問看護・介護事業所との連携により、地域に密着した地域完結型医療を目指して診療を行っています。			
<b>診療科名</b> ※選択科は赤字	内科、循環器内科、糖尿病内科、腎臓内科、消化器内科、呼吸器内科、人工透析内科、精神科、心療内科、リハビリテーション科、 <b>地域医療</b>			
<b>事務担当</b>	事務長 榎谷 賢治			
<b>住所</b>	〒870-0037 大分市東春日町5番25号			
<b>TEL</b>	097-532-0234	<b>FAX</b>	097-532-7580	
<b>E-Mail</b>	jimutyou@hakkokai.com	<b>URL</b>	http://www.hakkokai.com/	

<b>No.44</b>	<b>医療法人 新生会 福島病院</b>			
<b>研修実施責任者名</b>	理事長 福島 克彦			
<b>病床数</b>	60	<b>1日平均外来患者数</b>	98	
<b>医師数</b>	6人(常勤)	<b>1日平均入院患者数</b>	50	
<b>研修医室</b>	医局を共用	<b>当直(回/月)</b>	4	
<b>病院の特徴</b>	昭和38年開設の福島医院を前身として幾多の遍歴を経て平成4年10月に医療法人新生会福島病院として現在に至っています。内科診療を中心に更生医療施設として透析治療(透析ベッド60床)を行っています。専門医による内科疾患の専門外来にも力を入れています。また、平成20年4月から院外の循環器専門医の応援を得て、心臓カテーテル検査、経皮的冠動脈形成術及びステント留置術を実施しています。			
<b>研修症例の特徴</b>	介護保険サービスにも力を入れており、通所リハビリテーション、訪問看護等を行っており、他の介護保険施設、近郊医療機関、大学病院等と連携を図り、地域の皆様が安心して医療を受けられる病院を目指しています。			
<b>研修内容アピール</b>	当施設は地域医療研修分野においては、地域住民の医療及び患者の生活や地域の特性に即した医療の研修先として適していると存じます。			
<b>診療科名</b> ※選択科は赤字	内科、外科、循環器科、消化器科、呼吸器科、小児科、リハビリテーション科、 <b>地域医療</b>			
<b>事務担当</b>	総務 藤井 正秀			
<b>住所</b>	〒879-7131 大分県豊後大野市三重町市場231番地			
<b>TEL</b>	0974-22-3321	<b>FAX</b>	0974-22-7440	
<b>E-Mail</b>	soumu@shinseikai-fukushima.com	<b>URL</b>	http://www.shinseikai-fukushima.com	

No.45	大分ゆふみ病院			
研修実施責任者名	一万田 正彦			
病床数	24	1日平均外来患者数	2	
医師数	3	1日平均入院患者数	20	
研修医室	なし	当直(回/月)		
病院の特徴	全国でも数少ない完全独立型ホスピスである。由布岳と鶴見岳が見渡せる絶景の中にあり、24床の定床に3人の医師(非常勤含)を配置しきめ細かい診療と指導ができる体制を整えている。			
研修症例の特徴	終末期癌患者を対象とし、全人的苦痛に対するケアを行っている。			
研修内容アピール	ホスピスケアやターミナル期の症状コントロールを研修によって学んで頂く。また他の病院や診療科では体験出来ない患者との関わりを診て頂く。			
診療科名 ※選択科は赤字	内科、緩和ケア内科、疼痛緩和内科、地域医療			
事務担当	永井 孝一			
住所	〒870-0879 大分市金谷迫313-1			
TEL	097-548-7272	FAX	097-548-7273	
E-Mail	yufumi@alpha.ocn.ne.jp	URL	http://oitayufumi.com/	

No.46	社会医療法人 関愛会 佐賀関病院			
研修実施責任者名	院長 城 日出徳			
病床数	90	1日平均外来患者数	100	
医師数	7.6	1日平均入院患者数	87	
研修医室	無(座席は有)	当直(回/月)	1~3	
病院の特徴	当院は、佐賀関町と大分市が合併する前年の平成16年7月に、前身である佐賀関町立病院の譲渡を受け、民営化した病院です。平成17年12月に現在地に新築移転し、高齢化率40%を超える佐賀関地区の中核病院として医療を提供してきました。法人は周辺地区に4つの関連診療所及び老健、デイケアやデイサービスなどの介護施設・有料老人ホームと連携しながら地域包括医療・包括ケアを実践しています。病院の病床数は90床で、35床の一般病床、13床の地域包括ケア病床、42床の回復期リハビリテーション病床からなります。急性期疾患の治療だけでなく、プライマリ・ケアや慢性期疾患の治療、地域リハビリテーションに力を入れ、栄養サポート(NST)活動も盛んで、地域包括医療・ケアの推進や地域貢献を運営理念とした地域に根ざした医療を展開しています。さらに大分県内のへき地医療の支援活動も行って、平成21年に大分県から社会医療法人の認可を受けました。			
研修症例の特徴	当法人は、地域に4つの診療所と一つの病院を有し、包括的な地域医療・包括ケアを提供しています。症例は生活習慣病などのプライマリ・ケアの内科疾患系から、一次救急医療、外科や整形外科疾患まで、小児から高齢者の医療まで広く研修することができます。さらに一般急性期から回復期リハビリテーションや在宅医療などの慢性期医療まで研修することができますことが特徴です。平成26年からプライマリ・ケア連合学会の後期研修プログラムの協力医療機関になりました。			
研修内容アピール	当院での研修の特徴は、病院内だけでなく法人関連の診療所において、家庭医療や訪問診療、産業医活動まで広くプライマリ・ヘルスケアを研修することができますこと。超高齢化した地域社会の医療や介護など様々な問題を理解し、解決できる優秀な人材を育成していきます。			
診療科名 ※選択科は赤字	内科、循環器科、呼吸器科、消化器科、小児科、整形外科、外科、肛門科、耳鼻咽喉科、眼科、リハビリテーション科、総合診療科、地域医療			
事務担当	総務 竜田			
住所	〒879-2201 大分県大分市大字佐賀関750番地の88			
TEL	097-575-1172	FAX	097-575-0732	
E-Mail	h-ryuta@sekiaikai.jp	URL	http://sekiaikai.jp/	

<b>No.47</b>	<b>大分健生病院</b>			
<b>研修実施責任者名</b>	酒井 誠			
<b>病床数</b>	130	<b>1日平均外来患者数</b>	114.2	
<b>医師数</b>	14	<b>1日平均入院患者数</b>	128	
<b>研修医室</b>	無	<b>当直(回/月)</b>	4回/月	
<b>病院の特徴</b>	大分健生病院は1981年開院で、130床と小規模ですが、大分市内の第一線病院として一次救急、小児科、内科、外科基本3科の診療を行っています。健生病院の前身である津留診療所からの医療理念として、患者を病気としてのみ捉えるのではなく、背景である労働実態、生活を理解し、患者さんが抱えている困難に共感し、寄り添う医療を大切にしてきました。診療報酬でまだ認められていなかったところから、出かけていく医療・訪問看護・住診も積極的に進めてきました。今一番必要とされているのは、地域医療を担うプライマリ・ケア医です。健生病院は各職種でチーム医療を行い、切磋琢磨しながら日々成長をしている病院です。			
<b>研修症例の特徴</b>	130床という小規模総合病院であることを武器として、病院全体で総合診療を行なっていることが最大の特徴です。付属施設としては、医科歯科連携で高齢者の健康を入口からケアするための『けんせい歯科クリニック』、地域の在宅医療を家庭医として強力にバックアップする『けんせいホームケアクリニック』、医療過疎地域である竹田市住民の健康を支える『竹田診療所』、さらに訪問看護ステーション、在宅総合センター（ヘルパー派遣、訪問入浴サービス、通所リハビリテーション）、グループホーム、有料老人ホームといった施設があります。これらの環境により、急性期から回復期、そして在宅医療までを一貫して行なうことが可能であり、病気ではなく、まさに人を治すという姿勢で責任ある医療を地域住民に提供しています。			
<b>研修内容アピール</b>	初期研修においては、一つ一つの疾患に対する知識を深めるのみならず、医師として真に人を治すという姿勢を学ぶことが重要であると考えます。各科の専門科を配置しながらも、診療科ごとの垣根がないため、内科・外科・小児科といった基本3科の総合研修を提供しています。また、医療生協として地域住民との交流を重視しており、フィールドワークとして地域の保健予防活動に参加しており、研修にも積極的に取り入れています。			
<b>診療科名 ※選択科は赤字</b>	内科・外科・小児科・消化器科・呼吸器科・循環器科・整形外科・神経内科・皮膚科・病理診断科・放射線科・リハビリテーション科・総合診療科・地域医療			
<b>事務担当</b>	濱村 裕美			
<b>住所</b>	〒870-0935 大分市古ヶ鶴1-1-15			
<b>TEL</b>	097-558-5140	<b>FAX</b>	097-553-0612	
<b>E-Mail</b>	honbu1@oita-min.or.jp	<b>URL</b>	http://www.oita-min.or.jp/	

<b>No.48</b>	<b>諏訪の杜病院</b>			
<b>研修実施責任者名</b>	武居 光雄			
<b>病床数</b>	45	<b>1日平均外来患者数</b>	63.6	
<b>医師数</b>	7.25	<b>1日平均入院患者数</b>	44.6	
<b>研修医室</b>	有	<b>当直(回/月)</b>	4	
<b>病院の特徴</b>	リハビリテーションと透析医療を中心とした病院です。一般急性期病棟及び回復期病棟があり、様々な内科的疾患（心臓、呼吸器、腎臓、消化器、リウマチ等）、整形外科的疾患、中枢神経系疾患、難病、小児疾患等の治療を実施しています。大分県高次脳機能障害支援拠点の指定を受けています。デイケア、デイサービス、有料老人ホーム、訪問看護、訪問介護、居宅介護支援事業所、訪問リハ、住診等の地域医療を支えるための医療活動も行っています。また、障害者が社会参加（例えば仕事）するための施設である多機能型事業所（就労移行支援、就労継続支援B型）『工房きらら』も併設しています。北は青森、南は沖縄から患者さんがお越しになっています。また、医療スタッフ教育のための学生実習を受け入れています。年間200件近い学会発表、講演、医学雑誌投稿、シンポジウム、パネルディスカッション、座長等の活動もしています。			
<b>研修症例の特徴</b>	子供から老人まで、様々な疾病、様々な障害の研修が可能です。週1日の研究日には自分の行いたい研究や研修が可能です（例えば大分大学などにて）。			
<b>研修内容アピール</b>	リハビリテーション全般、基本的な内科的疾患、地域医療全般、障害学全般の研修可能。特に、高次脳機能障害、内部障害（とりわけ腎臓機能障害）、TMS・EMS・TENS等の最先端の治療は当院の得意技です。全国的に見てもこれらの研修が同時に可能な施設は多くありません。チームワーク医療に力を入れており、医師としていかにして医療スタッフをまとめてゆくかという大きな力が身に付きます。日本リハビリテーション医学会研修指定病院であり、リハ科認定臨床医、リハ科専門医、指導責任者の資格取得が可能です。			
<b>診療科名 ※選択科は赤字</b>	リハビリテーション科 内科 胃腸内科 放射線科 神経内科 心療内科 呼吸器内科 循環器内科 整形外科 皮膚科 人工透析内科 地域医療			
<b>事務担当</b>	吉武 健治			
<b>住所</b>	〒870-0945 大分市大字津守888番地の6			
<b>TEL</b>	097-567-1277	<b>FAX</b>	097-567-3066	
<b>E-Mail</b>	kousinkai@eagle.ocn.ne.jp	<b>URL</b>	http://k-suwanomori.com	

No.49	医療法人 宮崎医院			
研修実施責任者名	藤谷直明 宮崎美樹			
病床数	19	1日平均外来患者数	61	
医師数	常勤3	1日平均入院患者数	10	
研修医室	医局を共用	当直(回/月)	無	
病院の特徴	当院は、大分市に隣接する由布市に位置し、大学病院から車で15分の距離にある有床診療所です。地域のかかりつけ医として、多様なニーズに対応した医療の提供を行っています。			
研修症例の特徴	郡部のため高齢化率は高いですが、大分市内への通勤が可能でベッドタウン的な側面も持つ地域なので、小児から高齢者まで幅広い年齢層の患者さんが対象です。			
研修内容アピール	家庭医療専門医・指導医のもとで、患者さんの社会的背景まで考慮したプライマリ・ケアが学べます。 ① 高齢者の患者さんが多く、複数の病気を併せ持ち、生理的な機能の低下も考慮して診療する必要があるため、実践的な医療の現場を学ぶことができます。また、医療と介護の連携が日常的に行われており、他職種と顔の見える関係を築きやすく、密接な連携を学ぶことができます。在宅医療も行っています。 ② 学校医や保育園医を担っていますので、小児の保健・医療・教育にかかわることができます。 ③ 住民健診を行っていますので、保健指導のトレーニングもできます。			
診療科名 ※選択科は赤字	内科 総合診療科 小児科 整形外科 地域医療			
事務担当	宮崎 美樹			
住所	〒879-5413 大分県由布市庄内町大龍2357-1			
TEL	097-582-0345	FAX	097-582-0742	
E-Mail	miyazaki-iin-yuhu@crest.ocn.np.jp	URL	-	

No.50	宇佐リハビリ診療所			
研修実施責任者名	山上 由理子(院長)			
病床数	12	1日平均外来患者数	142.6	
医師数	3	1日平均入院患者数	8.5	
研修医室	無	当直(回/月)		
病院の特徴	宇佐市の北部に位置し、駅館川が側を流れていて風光明媚な場所にある。 宇佐・別府道路の宇佐インターと国道387号線を結ぶ県道上(県道625)にあって交通の便も良い。 (宇佐・別府道路の宇佐インターから300m、国道387号線宇佐インター線(県道625)下拝田交差点より400mの地点)			
研修症例の特徴	整形外科・一般内科の外来診療が主体です。 一日100人以上の患者さんが来院されますので、多彩な症例を経験できると思います。			
診療科名 ※選択科は赤字	整形外科、リウマチ科、リハビリテーション科、内科、呼吸器科、アレルギー科、地域医療			
事務担当	瀧 昭二(事務長)			
住所	〒879-0467 大分県宇佐市山本1658			
TEL	0978-33-5527	FAX	0978-33-5541	
E-Mail	rissei34@lime.ocn.ne.jp	URL		

No.51	社会医療法人財団 天心堂 へつぎ診療所			
研修実施責任者名	麻生 哲郎			
病床数	0	1日平均外来患者数	128	
医師数	6	1日平均入院患者数	0	
研修医室	無	当直(回/月)		
病院の特徴	「プライマリ・ケアとしての総合診療」・「生活習慣病の治療(高血圧・脂質異常・糖尿病・眼科)」 ・「在宅医療(訪問診療・訪問看護)」に特化した診療所です。			
研修症例の特徴	脳卒中後遺症・神経難病・認知症・癌末期状態で通院不能な在宅患者をはじめ、居住系施設入所者が対象患者です。			
研修内容アピール	医療・介護を問わず、地域包括ケアに関するあらゆる部門から健診事業に至るまで、天心堂の多岐にわたる部門に携わることが可能な研修内容です。			
診療科名 ※選択科は赤字	内科・呼吸器科・外科・眼科・放射線科・地域医療			
事務担当	今村 浩司			
住所	〒879-7761 大分市大字中戸次5185番地の2			
TEL	097-597-5551	FAX	097-597-7230	
E-Mail	imamura_hiroshi@tenshindo.org	URL	http://www.tenshindo.org	

No.52	姫島村国民健康保険診療所			
研修実施責任者名	所長 三浦 源太			
病床数	16(うち介護療養6)	1日平均外来患者数	65	
医師数	4(医科3,歯科1)	1日平均入院患者数	7	
研修医室	無	当直(回/月)	10	
病院の特徴	姫島村は、瀬戸内海西端、大分県国東半島の北の海上に位置する離島です。当診療所は、島内で唯一の医療機関として医師3名と歯科医師1名が日夜診療に当たっています。(この他にも大分大学医学部附属病院の眼科医局の先生や大分県へき地支援機構からの応援医師がご協力くださっています。) 診療所では、日頃からの健康管理(保健)、病気の早期発見と継続的な治療(医療)、日常生活の支援(介護・福祉)という流れを念頭に置き、診療活動を行っています。			
研修症例の特徴	離島という地域特性から家族背景などを把握しやすく全人的なアプローチがしやすい環境です。 外来では「コンディジーズ」が多いが、中には重篤な疾患も紛れ込んでおり、緊急の治療搬送を必要とする症例もあります。入院・在宅での終末期の症例にも対応しています。			
研修内容アピール	診療は、乳幼児から高齢者まで幅広い年齢層の疾患の診療や在宅診療、往診なども経験できます。 原則的に夜間・休日の救急患者にも対応するとともに、常時初期救急処置ができるように医師当直体制を整え、必要に応じて船舶・ヘリコプターでの患者搬送も行っています。 小規模な診療所ですが、各種健診も実施しており、内視鏡、超音波検査を始め、検査機器は充実しています。 当診療所では、住民との密接な関係を基盤とした、コンパクトで効率的な地域包括医療を比較的短期間で経験でき家庭医・総合医を目指す研修医師に適した環境です。			
診療科名 ※選択科は赤字	内科、外科、小児科、眼科、歯科、地域医療			
事務担当	浜田 恭志			
住所	〒872-1501 大分県国東郡姫島村1560番地の1			
TEL	0978-87-3221	FAX	0978-73-7000	
E-Mail	sinryosyo01@vill.himeshima.lg.jp	URL	-	

<b>No.53</b>	<b>中津市国民健康保険山移診療所</b>			
<b>研修実施責任者名</b>	内藤 英一郎			
<b>病床数</b>	0	<b>1日平均外来患者数</b>	36	
<b>医師数</b>	1	<b>1日平均入院患者数</b>	0	
<b>研修医室</b>	有	<b>当直(回/月)</b>		
<b>病院の特徴</b>	耶馬溪町のはずれにある農村地域の僻地診療所です。雄大な渓谷に囲まれ、若葉もみじや紅葉、耶馬溪ダムなど観光でも有名な地域です。			
<b>研修症例の特徴</b>	高齢者が主体で、高血圧・糖尿病はもちろん、及び変形性膝関節症や脊柱間狭窄症などの整形外科疾患もたくさん診療します。往診もあります。また、特別養護老人ホームの嘱託医もしており、認知症・褥瘡・肺炎・脱水も毎日のように診察あり、看取りもあります。子供の予防接種あります。			
<b>研修内容アピール</b>	主に見学ですが、もちろんご本人の希望により、診療や手技実施など積極的にしていただきます。			
<b>診療科名</b> ※選択科は赤字	内科一般、小児科、 <b>地域医療</b>			
<b>事務担当</b>	内藤 英一郎			
<b>住所</b>	〒871-0421 大分県中津市耶馬溪町山移3813-1			
<b>TEL</b>	0979-55-2068	<b>FAX</b>	0979-55-2077	
<b>E-Mail</b>		<b>URL</b>		

<b>No.54</b>	<b>中津市国民健康保険槻木診療所</b>			
<b>研修実施責任者名</b>	日下 寛惟			
<b>病床数</b>	0	<b>1日平均外来患者数</b>	20	
<b>医師数</b>	1	<b>1日平均入院患者数</b>	0	
<b>研修医室</b>	無	<b>当直(回/月)</b>		
<b>病院の特徴</b>	小規模集落(いわゆる限界集落)に立地する僻地診療所。山国町の人口は2320人、高齢化率は約50%であるが、槻木地区の高齢化率は更に高く70%を超える。槻木地区は、福岡県境に接し英彦山の麓に位置し、標高が500mを超えるために12月から翌3月は雪に閉ざされる。そのため、4ヶ月間は研修を受け入れていない。			
<b>研修症例の特徴</b>	大多数が高齢者で、整形外科症例を中心にその他内科・小児科を研修。地域医療、家庭医、老年科、整形外科、プライマリケアを研修する上で好適。診療圏は槻木地区に限らず中津市全域など広範囲。関節リウマチの治療も行っている。			
<b>研修内容アピール</b>	【研修目標】(1)地域医療マインドを理解する(2)外来診療と紙カルテに慣れる(3)手技の獲得(①注射:関節内注射・TPブロック②単純X線撮影(4)小外傷の対応 【研修プログラム】(1)～(4)の目標達成のためにプログラムを用意。イブニングレクチャーとして研修を行う。			
<b>診療科名</b> ※選択科は赤字	内科、小児科、整形外科、 <b>地域医療</b>			
<b>事務担当</b>	竹下 真央			
<b>住所</b>	〒871-0701 中津市山国町槻木1075番地			
<b>TEL</b>	0979(64)2024	<b>FAX</b>	0979(64)2244	
<b>E-Mail</b>	mo_tsukinoki@city-nakatsu.jp	<b>URL</b>	-	